

年月日	タイトル	本文
2011/03/28 (月)	窯入れ	本焼き窯入れしています。 前は、窯の蓋が少し開いていたか温度が上がらずに、器の色がうまく出ませんでした。 今回は大丈夫かな。
2011/03/25 (金)	◆お知らせ◆	高森兄さんの展覧会が始まりました☆ 陶器の作品展『注器の基』 とき: 23日(木)～28日(月) 木・月は18～22時。金土日は12～22時 場所: ギャラリー寸草庵 大阪市福島区吉野5丁目8の26 JR野田駅から徒歩5分(詳しくは下の地図で確認してください) 無料です。 楽しく過ごして頂けると思いますので、皆さまぜひ足をお運びください。 ※ギャラリー寸草庵は、天神橋筋六丁目から野田に移転しました。 ↓クリックすると拡大します
2011/03/24 (木)	〇〇パーティー♪	以前から楽しみにしていたパーティーが、ついに実現しました☆ 夢雲に月に一回陶芸を教えに来てくれている高森兄さんのお得意料理は、カレー。 「カレー皿作ったら、カレー持ってきてやるよ」とのありがたい兄さんのお言葉に、みんなせつせつと自分のカレー皿を作りました。 そして、いよいよその「カレーパーティー」の日がやって来たわけです。 それぞれ、自分のカレー皿とカップを持って集合！ カレー皿といっても、形は様々・・・ これぞカレー皿！ というのもあれば、カレー丼にするの？ という器(笑)、さらには「カレーは飲み物です」と言わんばかりのマグカップ仕様のカレー皿まで(笑) それぞれ、自分のカレー皿で兄さんのカレーを頂きましたよ。カレーにはすじ肉やひき肉などが入り、野菜はとろとろに溶けていて、香辛料が効いてとてもおいしかったです♪ マイ・カレー皿で食べた兄さんカレー、皆さんどうでしたか？ そして最後に、卒業生からみんなへのサプライズ・プレゼント！ 食後のデザート。嬉しいですね☆ みんな、おなかいっぱいになりました。 兄さんありがとう。みんなで美味しく楽しい時間を過ごせてよかった☆
2011/03/23 (水)	兄さんの	講習会でした。 手びねりする人、電動ろくろをする人。 釉薬の吹き付けをする人。いろいろな作業をそれぞれがしていました。 初めは、手びねりで土の感覚に慣れてから、電動ろくろを練習するといいですよ。 そして、今日の講習会後は場所を変えて、お楽しみの～～♪ 〇〇パーティー☆ パーティーの様子は、明日レポート致します(^_^)



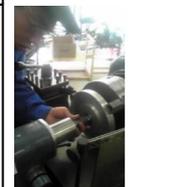
年月日	タイトル	本文
2011/03/22 (火)	チャレンジ作品	厚めに作った器の表面を弓で切ってデザインしたカップ。 何色にも釉薬がかけ分けられた器。 板もの。 出来上がりは、想像と違っていましたか？
2011/03/18 (金)	最近の・・・	織部と鉄赤はこんな色です。 織部は、土灰に入れる酸化銅の量により色の濃さを調整しています。現在は、こんな緑になっています。 鉄赤は、使ううちにガラス成分が少なくなってきたため、黄瀬戸を入れて色を調整しています。 回復してきたかな！？
2011/03/17 (木)	81回本焼き	できました。 今回は、カップやお皿が多いです。 チャレンジ作品もあります。少しずつ紹介していきますね。
2011/03/16 (水)	素焼きしてます	またまた、素焼きしてます。 フィギュア2体も入りました。ちゃんと焼けますように。
2011/03/14 (月)	寂しいですが☆祝☆	夢雲で先輩くんを引っ張って行ってた4回生が、いよいよ卒業です。 まずは夢雲で、器を前に造形・釉薬講義。これまでの研究成果をプレゼンしてくれました。先輩くん、引き継いでいってくださいね。 そして送別会。 ある4回生が、「夢雲は自由な場所だったので、肌合っていて色々なことができました」と言っていました。 これを聞いて、面白いなあと思いました。というのは、夢雲では「夢雲にある材料以外は、持ちこんではいけない」というルールがあるのに、「自由でよかった」と言ってくれたからです。 夢雲では、土や釉薬、型等の既製の材料を、外から持ち込まないというルールがあります。 例えば赤い土を使えば渋い器ができます。青の出る釉薬を持ちこめば、青い色が出せます。作りたい型を持ち込めば、それで型押しするだけで形が作れます。でも、夢雲ではそれはしないことになっています。 これでは、結果から逆算して、素材選びをしているだけだからです。 つまり、「渋い器」という結果を出すために赤土を買う。「青」という結果を出すために釉薬を買う。 夢雲では、これとは逆に、実験から未知なる結果を導き出すことを大切にしています。 「こうしてみたら、一体どんな結果が生まれるんだろう！？」という、未知への挑戦です。 今は、「こういうものが欲しい」と思えば簡単に手に入る時代です。陶芸でも、渋い器を作るための土や、青い色を出すための釉薬は、簡単に手に入ります。 でも夢雲では、今ある材料を使って目標とするものに近づいてもらいたいと思っています。そのためなら、釉薬が垂れてしまっても、おかしな色が出ても、かまいません。それが、楽しいんです。 送別会での4回生の一言から、つい話が長くなってしまいましたが。 卒業生の皆さん。これで最後というわけではなく、何かの折には夢雲に遊びに来てくださいね。
2011/03/11 (金)	お見舞い申し上げます	東北地方太平洋沖地震により被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。 復旧作業が少しでも早く進みますよう、お祈り致します。



年月日	タイトル	本文
2011/03/10 (木)	ペンで??	<p>釉薬というのは、基本的に草木の灰と長石とでできているのですが。今日は、なぜか素焼きに油性ペンで模様を描く人々が……。油性ペンを釉薬にする？いえいえ。そうではありません。油性ペンで描いた上に釉薬をかければ、ペンで描いた部分だけ釉薬が抜け落ちて、模様が出てくるのではないか！？</p> <p>そう思いついた学生くんたちが、チャレンジしているんです。初めての試み。さあどうなるのでしょうか。以下、その時の会話です。</p> <p>「ばからしいな～(笑)」</p> <p>「ここ(夢雲)らしいやん」</p> <p>夢雲って、ばからしいことをする場所でしたっけ(笑)</p> <p>「こんなことしてみたら、どうなるやろ」と思って、既成概念に囚われずに色々やってみる、という意味では確かにばからしいですよ(笑)</p> <p>「そんなことするかい！」ということも、やってみないと分からない。そこから意外なもの、面白いものが案外生まれるかもしれない。</p> <p>そんな夢が、夢雲にはありますよ☆</p>
2011/03/09 (水)	里絵先生の講習会	<p>今年度最後の、里絵先生の講習会でした。</p> <p>器を作ったり、釉薬がけしたり。新たな手法を思いついて、チャレンジしてみたり。</p> <p>卒業する皆さん、思い残すことはありませんか？まだ時間はあります。いろいろとチャレンジしてみてください！</p>
2011/03/08 (火)	ひらひらスカート	<p>5体目まで完成しました。</p> <p>スカートのドレープや、ひらひらと風に舞う姿。これが土でできているとは思えない程です。</p> <p>作者以外、誰も触れません(笑)</p>
2011/03/07 (月)	◆お知らせ◆	<p>3月の講習会の日程が決まりました。</p> <p>9日(水)16時半～18時半 里絵先生</p> <p>23日(水)17時～19時 高森兄さん</p> <p>参加される方は、直接夢雲までお越しください☆ 途中からでも参加できますよ。</p>
2011/03/04 (金)	どべの跡	<p>もうすぐ卒業してしまう学生くんたちが、最後の追い込みでたくさん作品を作ってます。</p> <p>電動ろくろ作品。</p> <p>どべの硬さがいい感じで、作品に跡が残っています。この凹凸によって、釉薬にも変化が出そうです。</p> <p>こんなのも楽しいですね♪</p>
2011/03/03 (木)	素焼き できました	<p>素焼きできました。</p> <p>今作られているものが乾燥したら、次の素焼きがまたできますね。</p>
2011/03/02 (水)	できた	<p>手回しろくろ、修理したものと、新品とが入りました。</p> <p>もちろん手作り！</p>



年月日	タイトル	本文
2011/03/01 (火)	3月ですね	随分暖かくなり、桃の節句ということもあって、あちこちで桃の花を見かけます。といっても、残念ながら桃畑ではなく、店頭ですが... 夢雲では、またまた素焼きが入りました。 次の素焼きもすぐできそうですね。 釉薬がけをもう少ししたら、本焼きもできそうですよ。
2011/02/28 (月)	兄さんの講習会	新人さんもベテランさんも混ざって、お茶碗やマグカップ、お湯のみ、お皿などを作りました。 初釉薬がけをした人も。どんな風に焼けるかな。 初めて陶芸、どうでしたか？ 素焼きしたら次は釉薬がけです。またこのブログでご報告しますね。 皆さま、お疲れ様でした♪
2011/02/25 (金)	できました！	釉薬をかけてつるつとした二体が、本焼きから出てきました。 長い時間かけて作った作品が、ついに完成しましたね！
2011/02/24 (木)	◆お知らせ◆	2月28日(月)は、17時から19時まで講習会です。 時間のある人、暇な人、釉薬がけする人、作品づくりしたい人。皆さん夢雲に直接来てください☆ 3月も2回、講習会ありますよ～。 日程が決まったらまた「夢雲カレンダー」に記入します。
2011/02/23 (水)	ろくろ 修理	機械工学科に所属しているスタッフ君が、壊れたろくろを何台か修正してくれています。 さすがですね～。
2011/02/22 (火)	素焼き 整理します	長期間放置されている素焼きがありますので、そろそろ整理していこうと思います。 「あれ、私の作ったものがない」なんてことにならないように、釉薬がけに来てくださいね～。
2011/02/21 (月)	ピラづくり	新入生に向けたピラづくりを、スタッフくんがしています♪ もうそんな季節ですねえ。



年月日	タイトル	本文
2011/02/18 (金)	本焼き 入りました	今回は背の高いものが入ったので、2段のみです。 何が入ったかは、画像で確かめてください♪
2011/02/17 (木)	実験材料を実験に・・・	応用化学科の学生くんが、研究室の実験で使い終わった「金～gold～」を土灰釉に溶かし込んで、どんな色が出るかを実験していました。 金をガラスに入れると赤くなると聞いたことがありますか・・・釉薬に入れたらどうなるんでしょうか。 生土に金の破片を埋め込んだものもあります。こちらはどうか・・・ 楽しみですわね！
2011/02/16 (水)	それぞれの模様	模様を入れ方、模様を入れる道具、どんな模様を入れるかによって、随分雰囲気が変わりますね。 弓を使うと、すばっとした鋭利な線が出ます。 ヘラを使うと優しく滑らかな表面になります。 どんな雰囲気を出したいかによって、道具を使い分けてみてください☆
2011/02/15 (火)	お皿に挑戦！	最近電動ろくろの練習を頑張っているスタッフくんが、お皿にチャレンジしていました。 お皿は一見簡単そうに見えますが、実はけっこう難しいポイントがいくつもあるんです。 慎重に作業を進め、なかなかいいできです！ その調子でOKです(^_^)
2011/02/14 (月)	雪の講習会	今日はお昼頃からすごい雪でしたわね。 夢雲の窓から見える淀川の堤防も白くなり、遠くに見えるはずの鉄橋がほとんど見えなほど空も真っ白でした。 そんな中、里絵先生の講習会がスタート。 冷たい水にも負けず、釉薬づくりをしてくれた人、ありがとうございます。 電動ろくろの練習をする人、手びねりで初高台にチャレンジした人、マイワールドを突き進む人。 面白い実験もありました。また後日ご紹介します♪ 本日はお疲れ様でした。皆さま、風邪などひかれませぬように！
2011/02/10 (木)	師匠と弟子	貼り付け師の師匠に習って作った、初作品が焼き上がりました。 師匠の作品と、弟子の作品です(笑) 技を伝承していただけるでしょうか。チャレンジしたい、という方いつでも夢雲へどうぞ！



年月日	タイトル	本文
2011/02/09 (水)	使ってみてください	<p>皆さん、夢雲で作った器を使ってみてくださいね。 楽しい、嬉しい、というのはもちろんですが、使ってみて初めて分かることがあります。 口当たりはどうか、水の切れはどうか、持った感じはどうか、手触りや大きさはどうか・・・などと、色々な発見があると思いますよ。</p> <p>人によって手の大きさや感じ方も違いますので、いろいろな人に使ってもらって感想を聞いてみるのも面白いですね。</p> <p>この急須を作った学生くんは、お茶を入れたらバリバリと貫入(かんにゅう)が入ったそうです。陶器は磁器と違って水を通しますので、そうやって貫入が入り、少しずつ味わいが出てきます。経年変化、といわれるものですね。</p> <p>このあたり、人間と似ていますよね。 時間を重ねるごとに、使い込まれていく。色々な癖や汚れや、欠けが生じていって、それが良い味わいとなるのかつまらない傷跡になってしまうのか・・・ そのどれもが、「時を重ねていった結果」であることに間違いはありません。 良い汚れ、悪い汚れってあるんだろうか？いい味わいと、いやらしい風貌って、何が違うんだろう？傷は単なる嫌なものなんだろうか？ そんなことを想像しながら陶器を楽しむ、というのもまた乙なものですよ。</p>
2011/02/08 (火)	調子いいです	<p>白萩が最近かき混ぜやすくなり、発色もよくなりました。 一時は地肌が透けてしまうほど薄くて表面がざらざらしていましたが、今はまったくいい白が出ています。表面も、つるつとして光沢があります。 白萩はこうあって欲しいですね♪</p>
2011/02/07 (月)	おばちゃん ありがとう	<p>6号館最上階にある淀ビスタのギャラリーで作品の入れ替えをしていると、お掃除のおばちゃんが「かわいいフクロウ。へ～、鱗を一枚ずつ貼ってるの～。いつも楽しんで見てるのよ。」と声をかけてくれました。 一つの器には、サンセベリアという植物を入れているのですが、その水もおばちゃんがたまに入れかえてくれているそうです。 知らない間にお世話になってました。 おばちゃん、ありがとうございます☆</p> <p>◆淀ビスタ 6号館15階。パソコンのできるスペースや、ソファアがゆったりと置かれています。一階下にはカフェ・ルラーシュがあります。 窓からは淀川が一望できて、とても気持ちのよい空間です。休憩どうぞ♪</p>
2011/02/05 (土)	79回 本焼き	<p>です。たぶん(笑) 白萩の調子かたぶん戻ってきてます。 犠牲となった器もありましたが(というか自ら実験の末犠牲となったというか・・・)、とてもいい器もたくさん上がりましたよ。 少しずつご紹介していきます。 ◆本焼き焼成:1220度で30分 写真左から 上段、中段、下段</p>
2011/02/04 (金)	思わぬ出会い	<p>某先生のお部屋に伺ってお話していると・・・ あれ？この器はどこかで見たことが・・・机の上に、見覚えのある器が。 去年の学園祭に、学生くんたちがフリーマーケットで売り出していた夢雲の作品です！ こんな所でまた出会えるとは。と嬉しくなりました。 先生がフリマで気に入って、購入して下さったそうです。 こうやって、知らないところで使われている器が、たくさんある(^_^) そう想像すると、楽しくなりますね♪</p>



年月日	タイトル	本文
2011/02/03 (木)	いろいろ できてます	何かまた、いろいろと出来ています。 学内の某先生が、「かわったもんを作ってみたい」と言っておられました。どんなものを作られるんでしょうか。 楽しみです♪
2011/02/02 (水)	2合	でっかい小鉢(大鉢みたいですが、作者曰く小鉢、だそうです)で、お粥を頂きました〜！と、スタッフ君がその時の写真をくれました。 2合分のお粥って、けっこうな量ですよ。 お抹茶の回し飲みならぬ、お粥の回し飲み。ですね。参加しなかったな〜(笑)
2011/02/01 (火)	本焼き 入りました	釉薬、垂れないかな！？ おせんべいを敷いたので、大丈夫です(^^)
2011/01/31 (月)	講習会	今日は講習会。 最近素焼き続きだったので、今日は釉薬がけをする人が多かったです。 二色目で大胆な模様を描かれた作品や、変わった二重がけをした作品、絵付けしたものなど、窯に入りました。 土の再生のために、ひたすら土の塊を割ってくれていた人もいました。ありがとうございます☆ その他、今日も色々面白いものが作られていましたが、少しずつレポートしていきます(^^) お疲れ様でした！
2011/01/29 (土)	陶芸からの進化？変化？変容？	素焼きができました。 一体何が入っているんでしょうか。 丸く見えているのは、ひと抱えある「指」。そしてその横には、それと同じくらいの高さの人形2体。 ちなみに指は、大きい指3本と小さい指2本がありますが、大きい指1本ずつしか焼けません。どう使うのかは、今のところ不明です。 最近の夢雲では、陶芸の域を超えたものがいろいろと焼かれています。おもしろい！
2011/01/27 (木)	入試で入構できません	27日・28日は、入試のため入構できませんのでご注意ください。
2011/01/26 (水)	イエイ！	ちょっと暗いですが、三体目の制作途中です。 「(人形の髪の一部の)三つ編みができないから、他の人にやってもらったんです」と作者は言っていました、こんなものが作れて三つ編みができないのが不思議です(笑)



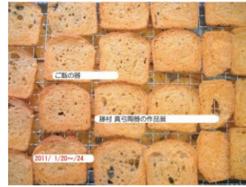
年月日	タイトル	本文
2011/01/25 (火)	展覧会「ご飯の器」	<p>夢雲を主催している大谷の、陶芸展覧会の様子を紹介いたします。</p> <p>今回は「ご飯の器」。</p> <p>ろくろを使わず、「くりぬき」という手法でいろいろな形のご飯茶碗を作りました。</p> <p>器を見て、手に取って、楽しんで頂いた後に、ご飯でおもてなし。お客様と、色々なお話をさせていただいて、とても楽しい時間となりました。</p> <p>ギターを披露してくださった方、カフェ巡りが好きで気に入りをこっそり教えて下さった方、これから変わったオブジェを作ってみたいと夢を語って下さった方、ワインブログを書く位ワインが好きで「ご飯に合うワイン」を持参してくださった方……</p> <p>それぞれの方から、書き切れないほどたくさんの貴重なものをいただいた気がします。</p> <p>お忙しい中、足をお運び頂いて本当にありがとうございました！</p>
2011/01/24 (月)	窯から物体が……	<p>出ました。</p> <p>ひと抱えあえる「指」が出てきました(@@)</p> <p>割れたり爆発したりしないか、心配しましたが無事でしたよ。実物は夢雲まで見に来てください(^^)</p>
2011/01/21 (金)	釉薬がけ してください	<p>釉薬がけ作品が30個くらいあったら、本焼きします。</p> <p>素焼きができている人は、釉薬がけしに来て下さいね。</p>
2011/01/20 (木)	出現(@@)	<p>夢雲に何やら不思議な物体が現れました。</p> <p>何だと思いませんか？空間デザイン学科の先生の作品だそうです……ひと抱えもあるくらい大きなものです。</p> <p>よ〜く見て頂くと、何だか分りますよ。</p>



年月日	タイトル	本文
2011/01/19 (水)	いい色が出てます ~釉薬の仕組みを理解しつつ~	<p>夢雲で使用している既製品の釉薬は、粉末の釉薬を水に溶かして、ちょうど「たこ焼きの生地位の硬さ」に調節しています。</p> <p>「お好み焼き」の生地では、濃度が濃すぎるんですね(^_^)水に何パーセントの釉薬を溶かすか、というように数値で調整するのではなく、「たこ焼きの生地位でよろしく!」と、感覚で調節しているのが夢雲の釉薬です。</p> <p>釉薬は、「溶ける」というよりは、水の中に釉薬の素材が「浮遊している」というイメージをしてもらった方が実情に近いと思います。</p> <p>釉薬を混ぜて少し時間を置くと、浮遊していた素材が重いものから順にあつという間に沈殿してしまいます。ということは・・・</p> <p>重いものが底の方に沈殿し、上澄みはほとんど水の状態、ということになります。そんな状態で釉薬を使い続けると、重い素材ばかりの組成に変質していってしまうのです。</p> <p>釉薬とは、そんな性質のものなんですね。</p> <p>夢雲で使用している釉薬の中でも特に鉄赤は変質が激しく、ガラス質がなくなってざらざらとした質感の釉薬になってしまっていました。</p> <p>この写真の鉄赤は、学生スタッフくんによって調整中の鉄赤です。随分、鉄赤らしい色とてかりが戻ってきました。</p> <p>完璧なものが完成することを目指すのではなく、「ある行為によって、こんな結果が現れるのだ」という経験をして、自分のした行為とその結果とを素直に受け止めて欲しい。</p> <p>それが夢雲の目的の一つですので、釉薬の質についても、そんな視点から見るということをしてもらえたら面白いのではないかと思います。</p> <p>色々な視点から物事を捉えてみるのは、面白いですよ♪</p>
2011/01/18 (火)	電動ろくろにも3年	<p>いつの間にか、こんな風になりました。</p> <p>月日の流れを感じます・・・</p>
2011/01/17 (月)	~☆図書館ギャラリーが豪華になりました☆~	<p>羽織から作られた豪華な敷物をご近所さんからいただいたので、ギャラリーに使わせていただきました。</p> <p>金糸や銀糸だけでなく、色とりどりの糸で繊細な模様が織り込まれています。</p> <p>作品も入れ替えて、ちょっと違った雰囲気になったと思いませんか？</p> <p>陶芸作品、敷物共に、近くで見てください。</p> <p>◆図書館ギャラリー 図書館(8号館)2階。</p>
2011/01/14 (金)	チャレンジ作品	<p>昨日の講習会でできた作品です。</p> <p>うろこ貼りに挑戦された人たちの、軽いコップや、ひまわり？</p> <p>一番右の写真は、極限まで薄くして上半分を「ひっくり返した」器です。割れずに焼けてくれるかな。</p>



年月日	タイトル	本文
2011/01/13 (木)	講習会でした♪	<p>里絵先生の講習会でした。 今日が2回目の陶芸体験だった学生くんたち。一度経験したためか、今日はコツをつかんで格段にうまくなっていましたよ。 そして、お茶碗完成！ 立派なお茶碗、カッコいいお茶碗ができました～。 その他にも、うろこ作りに挑戦する人や、独自路線を突っ走る人(しかも複数(笑))、端正な電動ろくろ作品を作る人、熱心に釉薬講義を行う人。 などなどで、あっという間に時間が過ぎました。 皆さま、お疲れ様でした(^_^) 次回は31日です。試験まったただ中かもしれませんが・・・息抜きに、夢雲を覗いてみてはいかがでしょうか。</p>
2011/01/12 (水)	あり得ないほどの・・・	<p>細部にわたって細かい細工の施されているフィギュアが！ 前人未到の領域です。 言葉を失うほどのものを見せて頂きました。 ちゃんと焼き上がりますように(祈)</p>
2011/01/09 (日)	展覧会@天六 に お越しください♪	<p>夢雲を主催している大谷の、陶芸個展(年に1回位しかありません(笑))をします。 お時間のある方、楽しみたい方、何か刺激が欲しい方は、ぜひ遊びにいらしてください。会期中はギャラリーに居りますので、会いに来てくださいね。楽しみに、お待ちしております。 「ご飯の器」なのに、なぜかパンの写真。ゴパン？なにになに？なんなのわけ？ そんな疑問も胸に秘めながら、展覧会を見ていただければ面白いと思います♪ ◆「ご飯の器」藤村真弓 陶器の作品展 (陶芸は、藤村の名前で活動しています) 日時:1/20(木)～24(月) 木月 15:00～21:00 金 18:00～21:00 土日 12:00～21:00 場所:大阪市北区天神橋7丁目3番2号大山第一ビル2F(王将の上) ちゃわんや五郎窯 陶芸教室/ギャラリー一寸草庵 TEL.&FAX:06-6881-6754 ・地下鉄天神橋筋六丁目から歩いてすぐ ・天神橋筋八丁目のバス亭から南に歩いて3分 ◆無料です ギャラリーに来られた方たちのお話をたくさん伺って、次の展覧会のための勉強に生かしたいと思っています。 一人では、なかなか思い至らないところもあると思いますので、色々なご意見を伺いたいと願っています。ぜひともよろしく願い致します。 ご家族やお友達を誘って、いらしてください☆ ※地図は、右側の写真↓をクリック</p>



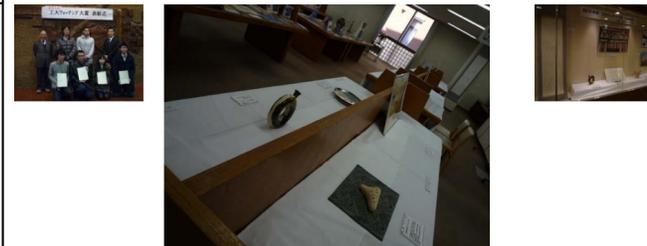
年月日	タイトル	本文
2011/01/08 (土)	1月の講習会は	13日(木)16時半～18時半 担当:里絵先生 31日(月)17時～19時 担当:高森兄さん です。 途中参加もOKですので、授業が終わってからでも駆け付けてください。 本年初陶芸、しに来ませんか(^_^)
2011/01/07 (金)	楽しいことをしたいですね	夢雲では、初陶芸をしている人がいました。 その後ろでは、釉薬の初講義が行われ(笑)難しすぎて、なかなか理解するのに骨が折れましたが、それを分かりやすく図にして残していただけるそうです。 よろしく願います！ 初陶芸は、ぶつくりと良い形をしていて、幸先がいい感じ♪ 窓際には、袋をかぶった作品が…。こちらも大作ですが、出来上がってのお楽しみということで…。 自分の得意分野を、それぞれが突っ走っているのがいいですね(～_～) 好きこそもの上手なれ、と言いますが、「好きなものに向いているものは違うんじゃないか」とも言われます。 確かに、あんなことがしてみたいのに手先がうまいこと動かない、ということはあるかもしれません。でも、夢雲での活動を見ていると、模索しながら結局はその人の得意なところに行きついているように見えます。 そして、それに取り組んでいる時みんな楽しそうで、しかも、それが簡単なことではなくても、諦めずに結果を出しているんですね。 「難しい」とは思っても「苦労だ」とは思わずに、「何とかしてやろう」と思って最終形にたどり着いているんですね。 自分にとって楽しいことをしたいですね。それはきっと、いくら大変でも「楽しいこと」なんです。
2011/01/06 (木)	今日の空は	年始の夢雲はひっそりとしていましたが、 空がとてもきれいでした。
2011/01/03 (月)	あけまして おめでとう ございます	本年も よろしく お願い致します。 今年が 皆さまにとって 良い年でありますように。
2010/12/25 (土)	皆さま よいお年を！	本年も、いろいろな方に夢雲の活動を支援して頂きました。 ありがとうございます。 来年もまた、よろしく願い致します。 皆さま、よいお年をお迎えください。



年月日	タイトル	本文
2010/12/24 (金)	☆メリー クリスマス ☆	皆さまどんなクリスマスでしたか？
2010/12/22 (水)	今年のラストは？	スタッフ君が今年最後の電動ろくろ作品をひいていました。 内側が豊かなラインの器がひけました。 「今年の最後に、いいものができてよかった」とのこと。 皆さんの今年の締めくくりは、いかがでしょうか(^_^)
2010/12/21 (火)	講習会	月曜は、大掃除の後夢雲兄さんの講習会でした。 新人さん3人が来てくれましたので、そちらをレポート☆ 初めての陶芸体験です。まずは器の形を作って、出来上がったら裏返して、かんなど削ります。みんな真剣です。 「お湯呑み」と、「ピサの斜呑」と、「マグカップ」ができました。なぜピサの斜呑かは…。推して知るべし、です(笑) 「ささっとできるのかと思ってたら、知らない間に時間がたつた。2時間もたつたなんてびっくり」 「土触ったのなんて、小学生以来だ～。おだんご作ってるだけでも楽しいんだけど(笑)」 色はどうやって出すのか、大きな壺は作れるようになるのか、等々、色んな質問も出てきました。 作品が完成しましたので、これを乾燥させて素焼きします。また、釉薬がけにしてくださいね！ そして… 新人さんの横では、スタッフくんが黙々と切り糸の修繕をしてくれていました。町の修理屋さんのような(笑) お仕事終わりの写真をパチリ(^_^) さらにこの隣では、釉薬の塊を電動乳鉢で潰して釉薬づくりをする一団もいましたが…。そちらは、また後日レポートします。 色んな作業が同時進行していきますので、一日ではレポートが収まり切りません(笑) 皆さま、お疲れ様でした☆
2010/12/20 (月)	大掃除！	今日は、夢雲の大掃除でした。 皆さん、あっちこっちをびっかびかにしてくれました！ 棚のものを全部出して、一段ずつからぶき。手まわしろくろやエプロンも、全てきれいに拭いて乾燥させてしまっています。 器を整理し、床についた土の汚れをふき取り、ほこりや砂を掃き出して。 全て終了！と思ったら、最後に大仕事…。 流し台の下にある、泥受けの中に溜まったヘドロを捨てて、きれいにする作業です。 暗くなったキャンパスを、荷台に乗せた泥受けバケツが通ります。今日初めて夢雲に来た新人さんも巻き込んで(笑)、大掃除が終わりました。 皆さま、本当にありがとうございました！！ 大掃除後の講習会の様子は、明日のブログでレポートします(^_^)
2010/12/17 (金)	2年がたちました	夢雲ブログを立ち上げて、気づけば2年がたちました。 夢雲自体はもっと前からあったのですが、スタッフくんがホームページを作ってもらったのが2年前。 本焼きの窯を焚くこと77回。その間に素焼きもしていますから、100回以上は窯焚きしていますね。 時とともに人は変化や成長をしますが、夢雲も徐々に変化していています。成長していったのかどうか？夢雲の成長って何だろう？と思いますが、夢雲に関わってくださるみんなと育てていっているんだと思います。 今年は、スタッフくん自ら「フリーマーケットをしよう！」という提案をして、楽しんでましたね。釉薬実験や、作品応募、新たな造形なども試みようとする人がいました。 新人さんに指導してくれる人、新しくものを作ってみようとする人、いろんな人が来てくれました。 一つのを丁寧に何度も制作して、極めようとする人もいました。みんな、それぞれに自分ならではの道、自分の持ち場を見つけていっているようで、嬉しく思います。 夢雲がずっと、自由な発想で陶芸のできる場所であり、失敗を恐れずにいろいろなチャレンジができる場であり、ほっとしてエネルギーを貯めることのできる場であり続けて欲しいと思っています。 これからも、よろしく願います☆



年月日	タイトル	本文
2010/12/16 (木)	敷物を頂きました	<p>大学のご近所さんで、着物から作品を作られている方から、きれいな敷物を頂きました。早速、淀ビスタの夢雲作品の下に敷かせてもらいました。ありがとうございました♪</p> <p>◆淀ビスタ 6号館16階。淀川が一望できます。 15階にはカフェ・ルランシュがあって、おいしいパンとコーヒーがいただけます。</p>
2010/12/15 (水)	魂こもってます	<p>これはもう、陶芸の域を超えていますね。 いろんな超え方がありますね～(@0@)</p>
2010/12/14 (火)	次の講習会は	<p>12月20日(月)17～19時です。 この日は、15時から、大掃除もしようと思います。一年の汚れをすっきりさせましょう☆ お手すきの方、お手伝いお願いします～。</p>
2010/12/13 (月)	フル稼働しております♪	<p>本焼き、窯入れしています。 今回も、窯に何とか入る大皿が一枚入りました。 これが今年最後の本焼きになるでしょうか。</p>
2010/12/11 (土)	ウオッチング大賞	<p>図書館主催の、「工大ウオッチング大賞」の授賞式がありました。学園祭の期間を中心にして、図書館に作品が飾られていました。もちろん私も見に行きましたが、どの作品にもそれぞれ作者の思い入れが感じられて、甲乙つけがたかったです。授賞式で図書館長もおっしゃっていましたが、接戦だったようですね。賞が取れるかどうかは、ひとつの結果ではありません。賞を取った人には、おめでとう！と言いたいです。それと同時に、賞を取ったかどうかとは関係なく、「作品づくりに取り組んだ意味」がその人にとってどんなものだったのか、ということもまた、とても大事な事柄だと思います。作品で何を表わそうと思ったのか、なぜその表現形態にしようと思ったのか、どんなことを考えて作ったのか、それを作るのにどのような技術を身につけようとしたのか・・・いろいろなことを考えて、一つの作品が仕上がっているんだと思います。そして、作品を作って出そうと思ったこと自体も、意味のあることだと思います。今回の大賞で、嬉しかった人、残念に思った人、次のことを考えた人、無事やり終えたと思った人・・・いろいろな思いを抱いた人がいたと思います。その思いのどれ一つとして、無駄なもの、駄目なものはありません。この経験を糧にして、次の目標に向かってもらいたいと思います。お疲れさまでした！</p> <p>◆作品展示 6号館16階淀ビスタ入口に、作品が展示されています。</p>
2010/12/10 (金)	講習会	<p>外は随分寒かったですが、夢雲はほかほか、里絵先生の講習会でした。手びねりを初めてした、というお二人さん。すごいいいご飯茶碗ができていてびっくり！電動ろくろを練習しているSさん。見ていない一瞬の間に、レベルアップしていてこれまたびっくりです。初めての釉薬がけ組もいて、出来上がりが楽しみです。次回の講習会は、★20日(月)17～19時★です。お間違えのなきよう！20日は15時からぼちぼちと大掃除しますので、余裕のある方はお手伝いお願いします(^^)</p>



年月日	タイトル	本文
2010/12/09 (木)	作品	<p>何だか、味のある作品がいろいろとできましたね～。 色のせいなのか、肌触りのせいなのか、形のせいなのか、何だか懐かしい感じがします。 お寿司屋さんで見かけるようなお湯のみに書いてあるのは、おそらく皆さん想像されたと思いますが、その通り、全て魚の名前です。 読めますか？私は、ほとんど読めませんでした(^_^) 写真をクリックすると拡大されますので、読み方にチャレンジしてみてください♪</p>
2010/12/08 (水)	大皿 中皿	<p>先日のブログで釉薬がけの様子をお知らせしていた大皿が、できました。 鉄で描いた模様が、思ったほど発色しませんでしたねえ。濃度が難しい。 大皿、貸出しますので、パーティーなどされる際には申し込んでください！お待ちしております☆ 今後も、まだまだ大皿ができていく予定ですので、お楽しみに。</p>
2010/12/07 (火)	77回本焼き	<p>上から二段分は、こんな感じ。 これまでの釉薬実験で垂れた釉薬が、棚まで達して表面がはがれてしまって、汚いんですが(^_^) 名誉の負傷、みたいなもんですね。</p>
2010/12/06 (月)	77回本焼き	<p>今回は、1段に1枚しか入らないような大皿が二枚入っていたので。 棚は5段になりました。 左から、上段、中段、下段。このさらに上に、もう2段入っていました。 その2段は、明日のブログに写真を載せます(^_^)</p>
2010/12/04 (土)	ギャラリー 入れ替え	<p>6号館15階淀ビスタギャラリーと、図書館2階のギャラリーの作品を、一部入れ替えました。 ちょっとずつ入れ替えていますので、どれが変わったか、探してみてください♪</p>
2010/12/03 (金)	断片から……	<p>花ができました。</p>



年月日	タイトル	本文
2010/12/02 (木)	本焼き 入りました	大皿2枚。 お母さんのものづくり道場の作品後半も、入りました。 うまく焼けますように。
2010/12/01 (水)	大皿に挑戦！ その2	11月末日に引き続き～～～ 大皿への釉薬かけ 2人目のご報告です。 豪快に！ 表にざばざば～っと釉薬を流し入れ～ 裏側にもバケツからぶっかけて～ 大筆でぐるんと◎を描きます。 できあがり！ さて、どんな大皿になるでしょうか。 楽しみですわ♪
2010/11/30 (火)	大皿に挑戦！ その1	窯に何とか入るくらいの大皿が3枚できました。 それぞれの大皿に、3名が釉薬かけをします。 1人目のご報告です(^^) 表に釉薬をかけて～ 裏にもかけて～ そして、違った色を刷毛で飛ばします。 さて、どんなお皿になるでしょうか。 お楽しみに♪
2010/11/29 (月)	兄さんの	講習会でした～。寒かったです。夢雲では今日もいろんな作業が進んでいました。 釉薬実験、釉薬かけをする人。 久しぶりに器を作るということで、「リハビリ」(笑)した人。 新たな造形にチャレンジした人。 「足」を作った人。 その傍らでは、機械工作の相談もされていました。ものづくり、という点では機械工作も共通していますので、 夢雲をそんな場所に使ってもらうのも歓迎です(^^) ★12月は、10日(金)と22日(水)が講習会★ですので、器を作りたいという方は夢雲(10号館2階一番奥の 部屋)まで来てください。 お待ちしております☆
2010/11/27 (土)	そして	素焼き、完成です♪ (一日で焼けたわけではありません。ブログ更新上の都合で、昨日窯入れして今日完成したように見えます が。念のため(笑))
2010/11/26 (金)	入りました～	素焼きしています。 香ばしいにおいがします(^^) 大皿も入りましたよ♪



年月日	タイトル	本文
2010/11/25 (木)	作品	鉄赤の調整をしてきましたが、だいぶきれいな赤が復活してきましたね。 ハンドル付きのカップいろいろ。 これからの季節、おいしい紅茶を入れて飲むのもいいのでは(^_^) ■おしらせ■ 来週月曜日は、17～19時に講習会があります。途中からの参加もOKですので、気軽に夢雲までどうぞ♪
2010/11/24 (水)	76回本焼き	できました！ でっかいお鉢も出てきました～。 また作品を紹介していきます♪
2010/11/22 (月)	ごりごり ねりねり	何をしているかというと…… 電動乳鉢で、土灰釉を練っています。 土灰釉は塊がなかなかほぐれず、つぶつぶが残りやすいので、こややって練ってから水で適当な濃度に薄めます。 今回はさらに酸化銅を入れて、緑色の織部を作りました。金属量によって色の出方が変わるので、試し焼きをして色を見ます。 お手伝いしてくれたスタッフくんたち、ありがとう♪
2010/11/19 (金)	対照的	左側の写真は、釉薬が薄くかかっています。 落ち着いた柔らかな雰囲気仕上がっています。 右側の写真は、釉薬がかかっており、びかびかと金属的な光り方をしています。力強い感じがしますね。 釉薬のかけ方、厚みで、これだけ違った風に見えるんですね。 釉薬は、器のまとう衣服のようなものです。 人間の衣服にも、いろいろなものがあります。例えば、ラフな服装、かっちりとしたフォーマルな服装、奇抜なもの、柔らかな印象を与えるもの、どこかにポイントがあつて目を惹くもの、周囲に溶け込むようなもの…… 私たちは普段、どんな場所でどんな相手に会い、何をするのか等、状況に合わせて服装を選んでいると思います。 釉薬も同じです。誰が、どんな時にどんな風に使う器なのか。それによって、釉薬の色やかけ方も変わってきます。 釉薬を決める時には、どんな印象の器にしたいのかな、ということを考えて選んでみてください。
2010/11/17 (水)	あまりにも……	リアルです。 魚のお腹の方も、リアルに作り込まれています。
2010/11/16 (火)	ぎりぎりを狙う	釉薬の垂れ具合は、器の形や厚み、釉薬の種類やかけ方、含まれる金属量の多さ、窯のどの位置に入れたのか、等々によって変化します。 それを予測して、ぎりぎりを狙うのもまたスリルがあります。 知ってか知らずか、今回はぎりぎりまで垂れつつも、何とか耐えている器がいくつかありましたよ(°o°) これが、コントロールできればすごいことですが、人の手でさまざまなポイントを作り込んでいったとしても、後は神のみぞ知る。 陶芸は、最終的には人の手を離れて窯の神様に委ねるしかないんですね。そこが面白いんですね～。



年月日	タイトル	本文
2010/11/15 (月)	いろいろ	先日本焼きで出たカップです。 色も形も、本当にいろいろです。 オーソドックスなものから、これはどうやって持ったろう! ? というものまで(^^) 頭と顔がゆるみます♪
2010/11/13 (土)	オープンキャンパス	オープンキャンパスの展示を、スタッフくんがしてくれました。 これまでは毎回私がしてきましたが、スタッフくんが私とはまた違った視点から夢雲の活動を紹介してくれた感じで、面白いなあと思いました。 色々な人に展示もお願いすると、それぞれの視点を知ることができて楽しいです。 ありがとう。
2010/11/12 (金)	75回本焼き	できました。 今回は釉薬が流れてしまった作品が多かったのですが、スタッフくん曰く、「釉薬実験が多かっただけです」ということです。 どうやら、うるこ状のものは、うるこの境目を釉薬が流れやすく、酸化銅の入っているものも流れやすい。など、特徴があるみたいですね。 窯を開けるのが、どきどきです。 ◆1230度で120分焼成 左から下段、中段、上段。
2010/11/11 (木)	講習会	里絵先生の講習会でした。 先日フリーマーケットで夢雲作品を購入して下さった方が、陶芸をしに来られました。 スタッフくんの指導の元、植木鉢ができました～。 お母さんのものづくり道場の作品、一部釉薬がけもしました。 織部は現在調整中ですので、調整ができ次第釉薬がけをします。 講習会中、「これから実験」やら「これからガイダンス」やら、みんな忙しく出入りしていました。 雲のように集まっては消え、消えては集まってくる。夢雲の名の由来の一つは、そんなところにあります。 今日は、そんな感じでちょっと嬉しかったのでした(^^) お疲れさまでした☆
2010/11/10 (水)	彫像	楽しそうですね～♪ 土の塊から、人が現れてくるんです。 これも技です。
2010/11/09 (火)	2度目の挑戦	大きな器を作りました。 簡単にできる? いや、意外なところで失敗。 よく見ると、境目にひび割れが… なるほど。こうなるんですね。



年月日	タイトル	本文
2010/11/08 (月)	シリカゲル	シリカゲルは、乾燥していると青く、濡れたらピンクになるということで・・・ これを釉薬に入れて焼いてみたら、もしかして色の変化する器ができるのではないか!! 水を入れていない時には青い色、水を入れたらピンク。そんな器、見たことないですね。 で、実験結果はどうなったか。夢雲に見に来てください(´皿`)
2010/11/05 (金)	素焼きできました	マグカップ、お茶碗など、いろいろなものが出ましたよ。 お心当たりの方は、釉薬がけに来てください。 ★お知らせ★ 次の講習会は、11日(木)17時～19時です。
2010/11/04 (木)	日常に復帰	学園祭も終わり、後期の後半に入りましたね。 長かった夏の暑さが嘘のように、寒さも増してきました。 非日常の生活からリズムを取り戻して、ぼちぼちと日常生活に復帰しましょう。
2010/11/02 (火)	こちらは 施釉作品	工大ウオッチング応募作品です。 丸い花入れ。 丸い大皿。 これも、電動ろくろでひくのは難しいんですよ! と、つつい言ってしまうようになりますが。 難しいことができることがいいわけではなく。 こんなものが作りたいーじゃあこんな技術があったらいいよね、という順番で、技術が高まっていったら嬉しいなあと思います。 この他の夢雲スタッフくん1人は、パソコンで作った作品を出してました。テンポがよくて、思わず2回見てしまいました(笑) さてさて、結果はどうなるでしょう。ドキドキですね!
2010/11/01 (月)	見てきました(～～)	図書館で展示している、工大ウオッチング大賞の作品、見てきました。 オカリナ。 火焰式土器。 どちらも、さらっと作られているように見えるかもしれませんが、経験と研究がいるんですね。 オカリナ、会場でお客さんも吹けたらよかったですね。 火焰式土器、実際に使用できたらよかったですね(笑) 工大ウオッチング作品は明日につづく・・・
2010/10/31 (日)	フリマ 二日目	日曜日は、午後からだんだん雨が激しくなってきましたよ。 そんな中でも、フリマが行われ。 たくさん、色んなお客さんに来ていただいたようです。 多くの器を買って頂いた方、作品の感想をいろいろと話して行って下さった方、気に入った物をじっくり選ばれた方・・・ 皆さま、ありがとうございました♪ 私が予想していたより、はるかに多くの方に夢雲の器を買って頂きました。 皆さんのお手で器が使い込まれて、いい味を出していくことを願っています。 スタッフくんたちも、お疲れ様でした! いい学園祭でしたね♪



年月日	タイトル	本文
2010/10/30 (土)	フリマ 1日目	<p>台風の前路が気になりながら、フリマ1日目スタートしました。私は出張が重なり残念ながら見に行くことができませんでしたが、スタッフくんたちからの報告を元にフリマ・レポートを書かせていただきます(^_^)</p> <p>悪天候で心配していましたが、1日目に随分器を買っていただいたようですね。一番売れたのはどれなんだろう。気になります。</p> <p>お店に並べた作品を見て、お客さんがどんな反応をされるのかを知るのも、普段作品を作っている時とはまた違った楽しみですね。</p> <p>自分ではいまいち、と思っていたものが案外人気があったり、これはいける!と思っていたものが、なかなか売れずに、何でだろう?と思ったり。</p> <p>お客さんとの駆け引き、やり取り、もまた楽しかったのではないのでしょうか。</p> <p>フリマを見て陶芸をしたくなった方、夢雲に器作りに来てくださいね(^_^)日程は「夢雲カレンダー」をご覧ください。</p> <p>フリマ・レポートは明日に続きます☆</p>
2010/10/29 (金)	フリマの商品～♪	<p>これまでに作ってきた作品、一気大放出!</p> <p>洗って、並べて、値段をつけて、明日に備えます。</p>
2010/10/28 (木)	★フリマします!★ 次の土日 @1号館1階	<p>.....</p> <p>★城北祭にて フリーマーケット★</p> <p>時:10月30日(土)・31日(日)</p> <p>場所:1号館1階(正門入って左側にずっと進んでください・普段は自転車置き場の場所です)</p> <p>出品物:夢雲の器たち</p> <p>.....</p> <p>夢雲スタッフが、フリマ出品作品を整理していました。どれを、いくらにしようか。どう展示しようか、と♪お茶碗、お湯呑み、ぐいのみ、徳利、お皿、ワイングラス、オブジェ、花入れ.....色々な品が出ますよ。夢雲で色の実験もしていますので、様々な色のものがあります。謎のカキ皿(笑)も出ます。実はこれ、使えるヤツなので、買わなかった人は損します(笑)ぜひ、足をお運びください★</p>
2010/10/27 (水)	兄さんの大皿	<p>兄さん講習会でした。</p> <p>最近夢雲では、学生のイベントで使用する大皿づくりをしています。板もの、貼り付けの大皿がこれまでにできていたが...</p> <p>今日は、兄さんに電動ろくろで大皿をひいてもらいました。</p> <p>3.5キロの土から直径35センチくらいの大皿出現。</p> <p>お皿作りは実は、お茶碗、お湯呑み、背の高いもの、などに比べて高度な技が必要なんですよ。</p> <p>しっかりと皿の底を「しめる」こと、底がこぼさないように力加減をコントロールしてひいていくこと、はね(お皿の高台から出ている部分)が垂れてしまわないように、うまく力をかけてひくこと.....</p> <p>そして、底が広いので高台削り(裏側の削り)もまた難しいのです。</p> <p>とはいえ、基本的な技術を積み重ねていった先に、お皿作りがありますので、ひとつの目標として大皿づくりを楽しんでもらえたらいいと思います♪</p> <p>お疲れ様でした☆</p>
2010/10/26 (火)	自然の影響?	<p>美しいグラデーションの器ができました。</p> <p>オレンジ、クリーム色から、紺色、紫っぽい色まで、複雑な色どりです。</p> <p>既製の釉薬に自然の草木の灰を混ぜたそうです。自然釉は既製品の均一感とは違って、こんな複雑な色を出してくれるんですね。</p> <p>自然は不均一で、不安定で、予測がつきにくい。だからこそ、こんな微妙で、人を引き付ける色を出してくれるんですね。</p> <p>★お知らせ★</p> <p>27日(水)17~19時は高森さんの陶芸講習会です。誰でも参加できますので、気軽に夢雲まで来て下さい。</p> <p>この日は大皿づくりもする予定ですよ!</p>



年月日	タイトル	本文
2010/10/25 (月)	不思議なもの	釉薬の調子といい、形状といい、「何に使うんだろう?」というものができました。使い方を教えてください。
2010/10/22 (金)	茶道部さん	作品が焼き上がってます。怒っているハニワもできました。お茶碗は、益子黒が金属っぽい表面になって美しく仕上がりました。
2010/10/21 (木)	こうなるのか～!	またまた、おもしろ実験の結果が出ました。砕いたガラス(深さ4センチ位)の真ん中(2センチ位のところ)に、土で作った勾玉を沈めておいたら・・・ ①沈む ②沈めた場所にとどまる ③浮く さて、どうなるのか?? という実験をしましたが、結果はこうなりました～。この性質を使ったら、おもしろい作品ができそうですね♪
2010/10/20 (水)	本焼き	大物が入ってます。工大ウッチングに応募するものも入ってますよ。うまく焼けてますように(祈)
2010/10/19 (火)	挑戦者	新人さんに、スタッフくんが土練りを教えてくれました。自分なりに挑戦した壺、なかなかですね! きっと、「こんなものを作ってみたい」というイメージがあったんでしようね。まず最初は、土練り、土殺し、種づくり、器の基本的なひき方の理屈を習って、それに向けて練習してみてください。目指す地点を先輩から教えてもらってれば、自分一人でも思考錯誤しながら練習を重ねて、そこに近づいていくことができます。目標地点が分からずに土を触っていても、何をどう練習したらいいのか分からずに、練習結果が積み重なっていきませんので。スタッフさんから基本を習う → 自分でチャレンジしてみる → 出てきた疑問点をスタッフさんに聞いてみる → また練習してみる・・・というのが、目標地点に近づいていく道のりだと思いますよ。ぜひ、マイ急須を作れるようになってくださいね☆
2010/10/18 (月)	地道な積み重ね	秋らしく、あったかいシチューを食べたくなるような器ができました。美しい渦巻状に指跡が淡々と続いています。これこそ、手びねりのよさですね。本人は、「自分は地道じゃないですよ～」と言ってますが、さて、そこはどうなのでしょう(笑)



年月日	タイトル	本文
2010/10/16 (土)	大皿 募集中！！	<p>昨日の講習会で、里絵先生に大皿を2枚作ってもらいました。建築学科と空間デザイン学科が共催イベントをした後のパーティーで、夢雲の器にお菓子等を盛りたいという注文があったためです。</p> <p>建築・空間デザイン学科の人たちも、大皿作りませんか？ みんなでわいわい陶芸するのも、楽しいですよ。夢雲スタッフさんも、大皿作りお願いします☆</p>
2010/10/15 (金)	講習会	<p>里絵先生の講習会でした。</p> <p>講習会前にルラーシェに行き、夢雲のカップでおいしいコーヒーを頂きました♪</p> <p>講習会では新人さんが土練り、電動ろくろを頑張っていました。コツを少しつかめたんじゃないでしょうか。先輩たちは、それぞれ得意分野の作業をしてました。何ができるんでしょう。皆様お疲れ様でした～。</p> <p>マイカップ、プレゼントの作品など作りたい方、気軽に遊びに来てください。</p> <p>次の講習会は、27日(水)17時からです。</p> <p>11月の里絵先生の講習会は、11日(木)16時半からです♪</p>
2010/10/14 (木)	飛び立つ	<p>かっこいい鳥ができました。</p> <p>二代目貼り付け師作。</p>
2010/10/13 (水)	何でだろう	<p>大壺に釉薬がかかりました。</p> <p>薄い赤紫のような色ですが・・・これが一体何色になるのか、お楽しみです。</p> <p>それにしても、赤紫が何であんな色になるんでしょうねえ??</p> <p>水彩や油絵とはまた違った、陶芸作品の色の不思議です。</p>
2010/10/12 (火)	釉薬調整中 & 実験中	<p>左の写真は、鉄赤です。使用するうちにガラス成分が減少していったためか、艶のないガサガサの表面になってしまいました。</p> <p>黄瀬戸と混ぜることで調整し、いい色を出そうとしているところです。</p> <p>右は、白萩を使った実験途中の釉薬です。金属っぽい色が出ましたが、この色が一体どこから出ているのか謎です。</p> <p>今後の実験で、その謎が解けていくかもしれません。楽しみです。</p>
2010/10/08 (金)	1人で考えることと みんなで考えること	<p>夢雲では、釉薬実験がずっと続いています。</p> <p>いい色が出ますねえ。</p> <p>最近では、これまであまり手がつけられていなかった白萩の実験が始まっています。</p> <p>白萩の正体は何なのか？ 白い色はどうやって出ているのか？ が、解き明かされていくかもしれません。</p> <p>実験結果と、その結果に対する考察を学生くんたちから聞いてみると、目から鱗！ということがあります。</p> <p>当たり前だと思っていて、その可能性すら頭に浮かばなかったことを、自由な発想をする学生くんから教えてもらいます。</p> <p>その発想にびっくり。そして、その可能性すら知らぬ間に頭から排除していた自分にも、またびっくり。</p> <p>1人で沈黙思考することは、とても大切なことです。人に聞いてばかりでは、自分で考える力がつきません。</p> <p>でも、自分1人で考えていると、それ以上のことに思いが至らないという面もまたあるんですね。</p> <p>そんなことを、改めて実感する日々であります。</p>



年月日	タイトル	本文
2010/10/07 (木)	72回本焼き作品	ピアグラスができました～。 電動で作ったものと、手びねりと。 釉薬のかけ方が工夫されたものもあります。
2010/10/06 (水)	継いでいくこと	夢雲の貼り付け師は、どんどん腕を上げていますが。 この技は一代限りか・・・と思っていたら、新星が現れそうな予感です。 一代目とはまた違った趣のある作品を作る貼り付け師が、もしかすると誕生するかもしれません(^_^) 写真は、一代目と二代目。
2010/10/05 (火)	あなた 誰？	この後姿は・・・ 松ぼっくり？ いえいえ。表から見たら、ふくろうです。一枚ずつ羽が貼り付けられています(◎▽◎) 釉薬実験の結果の中からちょうど合った釉薬を使って、こんな風に仕上げたんだそうですよ。一枚一枚の羽根に、濃淡がつけられています。釉薬をかけた後に、筆で一か所ずつ描いたそうです。 作者遠景もあります(^_^)
2010/10/04 (月)	お茶碗	茶道部さんが釉薬がけした作品が、焼き上がりましたよ。 濃い緑のお茶が入ったところを想像してみると、どうでしょうか。 自分で作った器でお茶を頂く、お客様にお茶を飲んで頂く・・・いつもとはまた違った楽しみ方ができるのではないのでしょうか。 変わり種の、象のお茶碗？も完成です。
2010/10/02 (土)	お母さんのものづくり道場	今日は、午前・午後と、後援会のお母さん等が参加されて、お母さんのものづくり道場が開催されました。 夢雲では陶芸教室を開き、お母さん方が熱心にお皿やカップ、花入れなどを作られました。 お隣の部屋では、激重な作業服を着たお母さんが、溶接オブジェの大作を製作されていました。 このブログで、今後の作業についてもご報告していきます。 本日はお疲れ様でした。
2010/10/01 (金)	窯づめ	釉薬がけされた作品がたくさんあるので、スタッフくんたちが窯づめしてくれました。 またまた、結果の予測がつかない実験も入ってます。一体どうなるのか！？



年月日	タイトル	本文
2010/09/30 (木)	兄さんの講習会	<p>でした。 今日も、釉薬談義や釉薬作り、削りの練習、細工物づくり、などなど色々な作業をそれぞれがしていました。スタッフくんたちは、本焼きの窯づめをしたり、釉薬の調子を整えたり、土のおせんべいを作ったりしてくれました。 本焼きの時に釉薬が垂れてもいように(実験で垂れることがあります)、下に土のおせんべいを敷くんですよ。麵棒で伸ばして作ります。 工大生なら誰でも参加して、お茶碗やマグカップなど作れます。まずは月に2回ある講習会に、気軽に遊びに来てください。 日程は、「夢雲カレンダー」でお知らせしています☆ 今日はお疲れ様でした♪</p>
2010/09/29 (水)	鱗 & 甲羅	<p>貼り付け物。 魚と亀は、別の作者です。 同じ貼り付け物でも、どこことなく雰囲気の違いが違いますよね。</p>
2010/09/28 (火)	ギャラリー 入れ替え	<p>図書館ギャラリーと、淀ピスタ(6号館16階)ギャラリーの作品を、一部入れ替えました。 図書館ギャラリーに飾るために、等身大のニワトリを両手で持って(何せ繊細なもので!)キャンパス内を移動していると、学生たちが遠巻きに見てました(^.^) 「先生、大学でニワトリなんて持って、どうすんねん。しかも手づかみで」って思われてたんじゃないでしょうか(笑) リアルニワトリ、一度鑑賞しに行ってみてください!</p>
2010/09/27 (月)	ハロウィン	<p>6号館15階のルーシュに、ハロウィンのかぼちゃが飾られていました。去年、夢雲で学生くんが作ったものですね。 ルーシュのお姉さんが、頭に小さなかぼちゃを乗せてくれました♪ ルーシュでは、淀川を眺めながら、焼きたてパンとおいしいコーヒーが飲めますよ。写真のような、おいしいスイーツもあります。 ほっと一息つきに行ってみてください☆</p>
2010/09/24 (金)	作陶後の楽しみ	<p>皆さんは、夢雲で作った器を持ち帰った後、どんな風に使ってますか? 彼は今度、自分で作った酒器とお酒を持参して、友達のお父さんと!?(何でお父さん?(笑))一緒にお酒を飲むそうです。 お父さんは、自家製スモークジャーキーなんかを作って、待ってくれているそうです。 贅沢で楽しい時間になりそうですね♪</p>
2010/09/22 (水)	茶道部 釉薬がけ(後半)	<p>先週来れなかった茶道部の人たちが、釉薬がけをしに来ていました。 はにわにも釉薬がかかりました。 自分で作ったお茶碗でお茶をたてる!という人もいました☆どんな味がするか、楽しみですな～。</p>



年月日	タイトル	本文
2010/09/21 (火)	発想の元	<p>「こうしてみたら、どんな結果になるんだろう」「こうしたら、自分の欲しかった色に近づくかな」と想像しつつ釉薬をかけること、 「この材料を使ったらこの色が出る」と分かって釉薬をかけること。 この違い、分かりますか？ 前者は、未知の事柄への挑戦です。どんな結果になるかは、まだ分かりません。結果が出た時、「想像通り！」となることもあれば、「何でこの結果になったんだろう？」と新たな疑問が湧く場合もあります。後者は、すでに分かっていることの後追いです。結果は、前もって分かっているので、「想像通り」です。夢雲では、「夢雲にある材料(土・釉薬の材料)・道具以外のものは基本的に持ち込まない」というルールがあります。窮屈だと感じる人もいますが、皆さんには、未知なものに挑戦してってもらいたいと思うため、そのような枠を作っています。「あの素材を買ってきたら〇色が出る」と、分かっていたら、今の世の中「あの素材」はすぐ手に入ってしまうのです。「あの素材」が手に入れば、便利だし、理想の色が出るんだし、より良い釉薬・土を使えるんだから、いいじゃないか。と思う人もいますが、でも夢雲で考えている「より良い」というのは、分かっていることを繰り返すことではなく、まだ分かっていないことを、自分で考えて確かめていく過程をたどることなんです。その過程では、未完成のものも、もちろんたくさんできあがります。でも、そこで悔しいと思ったり、思いがけない美しさを見出したり、失敗だと思った結果がいい色を出す発想に結びついたり・・・という拾い物が、あるはずなんです。便利だと、色んなものが簡単に手に入ってしまう。でもそれは、他から与えられたものであって、自分で手に入れたものではないんですね。しかも、未知なことに対して「発想を湧かせる」という能動的な動きではなく、すでにあるものの中から「選ぶ」という受動的な動きしかそこでは起こりません。皆さんには、夢雲の枠の中で発想を広げていって、自分でいろいろなものを手に入れていって欲しいと思っています。そうやって自分で手に入れたものは、消え去ることのない、かけがえのないものなんですよ。</p>
2010/09/18 (土)	マグカップ	<p>最近夢雲で陶芸をはじめた新人さんがいます。高校でも陶芸は身近だったそうです。1回目の手びねりでは、いろいろと反省点があったようで、今回はそれに気を付けながらマグカップを作っていました。ずっと立ち上がった、すっきりカップができました。どんどん色んなことを吸収していきましょう☆</p>
2010/09/17 (金)	里絵先生の	<p>講習会でした。茶道部の人たちが、前期に作ったお茶碗などに釉薬をけしに来ていました。どんな色にするのか、わいわいがやがや。手に持てないような形の器は、切り糸を2か所の持ち手にひっかけて吊るす！？という、斬新な釉薬のけの仕方、編み出されていてびっくり(笑) さらに新たな実験話も持ち上がり・・・結果が楽しみなものでした～。新人さんも来てくれました。新人さんレポートは明日につづきます☆</p>
2010/09/15 (水)	これからの季節に	<p>今年の夏は、猛暑日が異常に長く続いてどうなることかと思いましたが、ちょっと涼しくなってきましたね。今日は、赤とんぼが飛んでいましたよ。これからの季節に、ゆっくり温かいお茶を飲みたくなるようなお湯呑みができました。それを使っている場面を想像できる器って、いいですね。</p>
2010/09/14 (火)	お新香 羊羹	<p>まったりとした丹波黒の器には、ちょこっとお新香を入れたいですね。このお皿には、羊羹を一切れ乗せて。ゆるゆるとした時間を過ごしたいものです。</p>



年月日	タイトル	本文
2010/09/13 (月)	オランダへ	オランダの学生さんの器を梱包しました。 領事館を通じて送っていただきます。
2010/09/10 (金)	窯づめ	しました。 素焼きします。 大壺や、かき皿なども入りましたよ。
2010/09/09 (木)	大物 小物	電動ろくろの作品が、さまざまな形、大きさでできています。 それぞれの人が、自分の課題に向かっている感じがしますね。
2010/09/08 (水)	念願の	柄ごてが完成していました。 習作を経て、今回の柄ごてはちゃんと機能を果たしてくれそうです。 今度みんなで、使い心地を試してみよう！ スタッフくん、お疲れ様でした☆
2010/09/07 (火)	NANO √2	ナノ材研に留学していた学生さんと、お世話してくださった先生の作品が、遅ればせながら完成しました。 スタッフくんたちが、造形、釉薬がけともに指導してくれました。 渋いぐいす色のぐいのみ、きれいなガラスの入った灰皿、淡い緑色の器です。 ぐいのみに合わせてスタッフくんが作った徳利も一緒に、留学生くんへ送るそうですよ。 留学生くんが一番最初に夢雲にきた時に、「徳利作りたい！」って、言っていましたもんね。 短期間の留学だったので徳利作りは叶いませんでしたが、念願の徳利が荷物の中に入っているのを見つけた彼は、どんな思いを抱くでしょうね。
2010/09/06 (月)	オランダ、デルフト大学の学生さんの作品が	できました～！ スタッフくんたちが、それぞれの器が一番かっこうよくなるような釉薬を考えて、かけてくれました。 丹波黒、白萩、織部、枯紫陽花、二重がけ、かけ分け、さまざまです。 全部、きれいに完成していました☆ オランダの学生さんたちの手に渡るのが楽しみです。



年月日	タイトル	本文
2010/09/04 (土)	里絵先生 写真展	夢雲に講師として来てくださっている、西村里絵先生の展示会に行ってきました。 10回目の陶芸展を終えた里絵先生は、今回写真展を開かれました。 ポップな写真立てに、どこか懐かしさを感じる写真が飾られていて、居心地のいい空間でした。 こんな綺麗な夕焼けを最近見ていません。 プランコを漕ぎながら、夕方の西の空を眺めていた子どもの頃を思い出しました。 あの頃は、今よりもアクチュアルな ~生き生きとして鮮明で、その時その場での体験を生きているような~ 時間を日々過ごしていたなあ、と思います。 いくつになっても、そんな時間って大事ですね。
2010/09/03 (金)	新ジャンル開拓の予感！？	こんなに細かいものができるのか、とまたまた驚嘆しました。 どれくらい時間がかかったのかな。
2010/09/02 (木)	本焼き	しています。 オランダのデルフト大学の学生さんの陶芸体験作品も入ってますね。 スタッフさんたちが、器ごとにかっこいい仕上がりを想像して、釉薬をかけてくれています。 どんな風に窯から出てくるのか、わくわくドキドキです☆
2010/09/01 (水)	早々と	できました！ 8月に開催された、工作・実験フェアの作品が 焼き上がりました～。 とても繊細なものから、どっしりとした安定感のあるものまで様々です。 梱包までしましたので、お引き取りにいらしてください☆
2010/08/31 (火)	釉薬実験棚	こんな風になってます。 ペットボトルに、釉薬の材料をいろいろ配合して、割合を書いておきます。 実際に焼いてみて、どのような色目でどんな手触りで、溶け具合はどうか、などを確かめます。 窯のどこに入れたのか、焼いた温度は何度か、器の厚みや形状は・・・などなど、色々な要因で色は変化していきます。 そんな中で、次の配合を決定して実験を進めています。想像に近いものを出せるようになってきた人もいますよ。 すごい釉薬マップができていましたので(^^) 一度、釉薬実験のプレゼンテーションをしてもらいましょうか。
2010/08/30 (月)	かわいいものが	いろいろと、できていました。



年月日	タイトル	本文
2010/08/27 (金)	オーキャン 準備	<p>29日はオープンキャンパスです。 夢雲では、普段の活動の様子を展示します。 いろいろな釉薬実験をしていること、草木の灰から自然釉を作っていること、道具なども一部手作りであることと、オリジナルの変った陶芸作品などもできていること、などなど。 こうやって見てみると、「これは鉄赤です」とか、「ひも積みでできています」とかの、基本的な説明はほとんどないんですね。 最初からそうだったわけではなく、夢雲が立ち上がった当初は、基本的なことから始めたわけですが。 最近は、学生くんたちが、「分かっていること」ではなく、「その先のこと」へと足を踏み出しているんだなあと、展示をしていて改めて思いました。 「オリジナル」だから素晴らしい、のではなく、「その先」に足を踏み出したから、未知なものや求めていた(けれどこれまではなかった)ものにたどり着けた、という体験が得難いものなんですよ。 この体験だけは、誰からも奪われることのない、その人だけが得られるものです。 そんな体験ができることは、とても大切なんですよ。それが「特別な」体験だからではなくて、失敗も成功も含めて「その人自身の」体験だからです。</p>
2010/08/26 (木)	親子陶芸教室 窯入れ	<p>21日に親子陶芸教室で陶芸をされた方たちの作品を、窯づめました。 うまく焼けますように。参加された皆さんも、祈っていきましょうね☆</p>
2010/08/25 (水)	実験 続き	<p>緑色の器は、同じ緑でも全く違った彩度、色合い、肌触りです。 白い方は、表面に濃い釉薬をたらしてみたらどうなるか？という実験。 釉薬がかかっていないところから、水が少しずつ浸み出してくるようです。</p>
2010/08/24 (火)	!	<p>でっかい壺が精緻にひかれていました。 これだけ大きなものになると、ひもの太さを均一にすること、ひもを丁寧に積んでいくこと、一段ずつ正確にひいていくこと、など、それぞれの工程に一つずつ気を配って進めていく必要があります。 後で修正すれば何とかなるか。と思っていると、かえって歪んでいって収拾がつかなくなります。身に覚えがある人もいるでしょう(笑) 美しいフォルムの壺です。 どんな壺に完成するのか。またまた、楽しみです☆</p>
2010/08/23 (月)	職人	<p>スタッフくんが、柄ごてづくりに再チャレンジしてくれていました。 木に下書きを書いて、マシンの掃除をして。 それから切り出しです。 切り出した後は、グラインダーで調節しながら削り出していきます。 どんなのできたかな。</p>



年月日	タイトル	本文
2010/08/21 (土)	工作・実験フェア ☆ 夢雲陶芸教室	<p>小学生とその保護者の方々が、工大のイベント「工作・実験フェア」にたくさん来学されました。夢雲では、親子陶芸教室を開催。龍、恐竜、カブトムシ、カニ、ウサギ、ワニ、魚、カピバラさん……。いろいろな動物をみなさん上手に作っていましたよ。</p> <p>小物入れや、鉛筆立て、お香立て、植木鉢などなど、器を作る人もいました。うちで使ってくださいね。</p> <p>その他大学内では、ペンダント作りや、どんぐり等で森の工作、ペットボトルでロケット作りなど、いろいろなモノづくり体験にたくさんのお小生がチャレンジしていました。</p> <p>楽しい体験ができたでしょうか。</p> <p>皆さま、お疲れ様でした。!</p> <p>焼き上がりを楽しみにお待ちしております☆</p>
2010/08/20 (金)	青なるか	<p>スカッとした青が出ないかと、またまた釉薬づくりに挑戦している人がいました。</p> <p>どうなるのか、楽しみです☆</p>
2010/08/19 (木)	道具づくりの英知	<p>夢雲の手ろくろや、電気窯はモノラボで手作りしたのですが・・・</p> <p>今回は、スタッフくん柄ごてを作ってもらっています。</p> <p>一回目のチャレンジはというと・・・残念ながら撃沈。</p> <p>私の柄ごて理解も中途半端で、どんな機能を果たすためにどのようなカーブを描いている、どんなヘッドのどれくらいの太さの柄ごてが欲しいか、ということをお伝えできなかつたのですが・・・</p> <p>師匠のレクチャーを受けて(私もスタッフくんも一緒に)、なるほど、そういうことだったのか!と理解を新たにしました。</p> <p>何気ない柄ごてに英知が詰まっています、道具とは目的を果たすためのものであること、すっきり無駄のない使い方をすることで道具の機能が如何に発揮されることを、改めて思い知らされました。</p> <p>とっても当たり前のことですが、説明を聞かないとそこまで思いが至りません。これまで柄ごてを何となく使ってきましたが、今回はスタッフくんのおかげで改めてレクチャーを受けられて、理解が深まりました。</p> <p>スタッフくんには、新たな理解を基に、改めて柄ごて作りに臨んでもらっています。</p> <p>どんな人出来るか、楽しみにしています。</p>
2010/08/18 (水)	夏の後半へ	<p>皆さま、お盆休みは楽しく過ごされたでしょうか。ゆっくりお休みできましたか?</p> <p>遅くなりましたが、夢雲ブログ復活です。</p> <p>今日は、友情の器のご紹介です。</p> <p>3つのワイングラスのうち、ウグイス色のガラスのふちがちょっと欠けています。これには理由があって、窯の中にあつたお隣さんが熱で歪んで倒れてきたのを、支えてあげてたんですね。</p> <p>このワイングラスが受け止めてくれたおかげで、他の作品には被害が全く及びませんでした。</p> <p>この二つの器は仲の良い友達2人のもものなんです。作品でまですっかりと助け合いをするなんて。</p> <p>「すまん。」「よっしゃ、まかしとき。」「助かるわ～」なんて声が聞こえてきそうです(笑)</p>
2010/08/11 (水)	よい夏休みを!	<p>16日まで、大学全体がお休みに入ります。</p> <p>皆さま、よい夏をお過ごしください☆</p>
2010/08/10 (火)	里絵先生の個展 ご案内	<p>夢雲に陶芸講師で来て下さっている里絵先生の個展が、9月の1週目に開かれます。</p> <p>堅苦しい場所ではなく、お客様と一緒に楽しみたいという空間です。興味のある方は、ぜひお立ち寄りください♪</p> <p>♪「どないですか 里絵 写真展」</p> <p>とき:9月2日(木)～6日(月)</p> <p>12:00～22:00</p> <p>ばしょ:ギャラリー一寸草庵</p> <p>(大阪市北区天神橋7丁目3番2号大山第一ビル2F)</p> <p>TEL&FAX:06-6881-6754</p> <p>http://www.gorogama.com/</p> <p>「陶芸の展示会」と言われて想像するものとは、ちょっと違っていると思います。何か楽しいことないかな、という方どうぞいらして下さい☆</p>



年月日	タイトル	本文
2010/08/09 (月)	黙々と	<p>スタッフくんが、土の再生をしてくれていました。 陶芸の良いところは、失敗したら何度でも作り直しができることです。土が固くなったら、泥に戻してから適度な固さまで干しておいて、土練機にかけます。 ただし、勝手に土が再生されるわけではなく、地道な作業を陰でしてくれる人がいるわけです。 作業と一緒にしてくれるスタッフを常時募集してますので、ぜひお手伝いお願いしますね！</p>
2010/08/06 (金)	光の当て方	<p>こげ茶色の器と、たくさん星の出ている器です。 どちらがきれいだと思いますか？使うなら、どちらを使いたいですか？ 左の方が落ち着いていいな。 右の方がかっこよく模様が出るから好き。 左は何か地味やな～。 右は、けばけばしくて何だかなあ。 人によって、感じ方や好き嫌いがあると思いますが・・・。 実はこれ、同じ器です。(すぐに分かった人もいるかもしれませんが。) 器は、ライトを当てたり、自然光の中で見たり、近づいて見たり遠くから眺めたりすると、いろいろ違った風に見えるものです。 遠くからでは分からなかった細かい模様や貫入(かんにゅう)が、近くでよく見ると入っていたり。 近づき過ぎたら、全体のフォルムがかえって見えなくなったり。 部屋の中で見るといまちだったものが、自然の光に当てたら生き生きと出したり。 昼間の光だと反射してしまってもよく分からなかった色が、夜になるとうまく映し出されたり。 今見えているものは、一体どの側面なんだろう。まだ、新たな見え方が出てくるのかな。 そんな風を楽しむのも、また一興です☆</p>
2010/08/05 (木)	不思議 三連発	<p>なんでしょうね～。</p>
2010/08/04 (水)	本焼き作品	<p>酸化銅を足して作った、濃い織部。これだけ濃いと、釘彫りがきれいに浮かびますね。 真ん中は、友達にプレゼントするぐいのみ。いい感じじゃないですか。 右の急須は、配合した釉薬がかかっているようです。金属が多く、てかっとしたなかなかよい仕上がりになっています。</p>



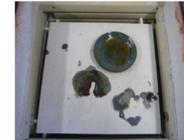
年月日	タイトル	本文
2010/08/03 (火)	とうとう	<p>70回本焼き！できました。 気づけばもう本焼きをこれだけしてきましたね～。 びっくりするくらい、いろいろな形、いろいろな色、いろいろな趣向のものができてきました。 この窯は、日本一多様なものが焼かれているんじゃないかと。そして、日本一失敗の多い窯じゃないかと(笑) 思います。 とある場所で陶芸をしてきた人から聞きましたが、「こうすると割れたりヒビが入りやすいからしないでね」「ここまでしておいてね」と言われて、夢雲ほどは自由に陶芸ができなかったそうです。 いえ、そのことを責めているんじゃないんです。通常、陶芸をする場所だったら、そういった指導は当然のことですよね。 割れない方がいいだろう。釉薬が垂れずにきれいな、ちゃんとした作品が残った方がいいだろう。当然です。 でも、夢雲では、 「こうしてみたらどうなるんだろう」 「こうしたら割れると言われてるけど、どんな風に？」 「こんな風に作ったら崩れてしまうのかな？」 「この釉薬が垂れる限界はどこだろう？」 「この色を出すにはどんな配合がいいんだろう？」 などなど、色々な疑問を持って限界までやってみて欲しいんですね。 窯の棚板に釉薬が垂れてしまえば、やっぱり私も凹みます。あ～、またアルミナが剥がれるな～。修理どないしよ。 でも、基本的な陶芸技術を”間違っただけ”から失敗したのではなくて、限界まで挑戦してみた結果、そうやってしまったことなら、楽しいじゃないかと。思ってしまうんですね。教師失格か！？(笑) でも、そんなチャレンジを見られることは、とても幸せなことだと思います。 だからといって、しなくてもいい失敗をするなよ。学生くんたち(笑) 今後も、期待してます。</p>
2010/08/02 (月)	兄さん講習会	<p>でした。 柄ごての調子を確かめて、調整箇所を割り出しました。スタッフくんが夏の間にも、新しい柄ごてを作ってくれるかもしれません。 器の修復をしている人もいました。 夏の間も夢雲は開いています。スタッフさんが在室している時には利用できますので、遊びにきてください☆</p>
2010/07/31 (土)	何やらまた・・・	<p>できていました。 端正なものから、何に使うんだろう？？というものまで。</p>
2010/07/30 (金)	涼しい夏を演出	<p>キンキンに冷えた辛口の日本酒をグッと飲み干した時。 みたいな音が鳴るそうです♪</p>
2010/07/29 (木)	本焼き作品(続)	<p>枯葉陽花がいろいろな色になっています。</p>



年月日	タイトル	本文
2010/07/28 (水)	本焼き作品	こちらも、先日窯から出た作品です。 バランスいいですねO'
2010/07/27 (火)	日本の思い出に	今月いっぱい国に帰ってしまう学生さんが、研究室の先生と一緒に最後の釉薬がけをしに来てくれました。 最初に作ったお湯のみは、とても気に入って使っているそうです。 今回も仕上がりが楽しみです☆ スタッフさんたちも、お疲れ様でした。
2010/07/26 (月)	貼りつけ・メビウスの器	かわいいフクロウと魚くん。 ねじれたカップ! ?
2010/07/25 (日)	オープンキャンパス	昨日はオープンキャンパスでした。 ご来学頂いた皆さま、ありがとうございました。
2010/07/24 (土)	貼りつけ師	今回の窯で、鳥の丸焼きができました(笑) 微妙な首の角度、ぐっと睨みつけている表情、体の丸みなどが、まさに鶏。 羽の一枚一枚を、地道に貼りつけていく作業によって、完成されています。 ひとつの技を完全に自分のものにしましたね。 天晴れです!
2010/07/23 (金)	格別な酒	男らしい「酒」の文字が入ってます。 これで呑むお酒はおいしいでしょうね☆ かわいいカエルくんもできていました。



年月日	タイトル	本文
2010/07/22 (木)	69回本焼き	窯出しができました。 窯出しから数時間後に見に行ったら、すでに作品の大半が持ち去られていたので、実物が見られませんでした。 きっと、早く持って帰って使ってみたかったんですね(笑) ◆1230度で60分 左から上段・中段・下段。 上段にはもうちょっと作品があったのかもしれませんが(笑)
2010/07/21 (水)	実験の途上	釉薬の材料をいろいろと配合して、何かを目指しているようです。 骨組みと、ガラス質と、それを溶かす成分との配合をいろいろと変化させるのですが、どの配合がよいのかは 試行錯誤です。 溶かす成分が少なければ溶けないし、骨組みが少なかつたら釉薬が流れてしまったり・・・ 見ている、わくわくします☆
2010/07/20 (火)	オランダからの学生さん	オランダの大学から、ソーラーカーチームがやってきました。 夢雲で陶芸体験をして、いい器ができましたよ。皆さん、熱心に作っていたそうです。 夢雲スタッフも頑張ってくれました。ありがとうございます。いつも感謝です。
2010/07/19 (月)	きらきら	今日は祝日ですが、大学は授業日でした。 釉薬がけのされた器がたくさんあります。 色ガラスを入れています、釉薬の色と合わさってどんな色になるか楽しみですね。
2010/07/17 (土)	驚愕	リアルです・・・ 若冲ですね。
2010/07/16 (金)	存在感あります	箱もの。 織部ぐい呑み。 天目風飯碗。 一つひとつの作品に、存在感がある気がします。 どうですか？



年月日	タイトル	本文
2010/07/15 (木)	窯出し作品	先日窯から出てきた作品です。 丹波黒の二つのお湯のみは、友人へのプレゼントだそうです。優しい感じに仕上がっていると思います。 織部の器と、丹波黒のお湯のみは、留学生くんが日本にいる間に陶芸を！ということで、先生も一緒に作りに来て下さった作品です。 立派にできました☆ 指導してくれたスタッフくんにも感謝です。
2010/07/14 (水)	素焼き	窯づめました。 今回は、造形が複雑なものが多かったため、案外場所を取って器が入り切りませんでした。次の窯に回ってしまった方、もうちょっと待ってくださいね。 鶏まるごと、入りました。 土器も入りました。 楽しみです☆
2010/07/13 (火)	窯出し	68回窯出しができました。学生くんたちが窯出ししてくれていました。 今回も釉薬実験で釉が流れたものが多かったのですが、それをうまく使って何か面白いものができないだろうか、という案が浮上っています。 楽しみです☆ 左から、上段、中段、下段。 1230度で60分。
2010/07/12 (月)	講習会	里絵先生の講習会でした。 素焼きの窯づめ、土の再生。釉薬話。 先日購入した柄ごての頭が、どうも大きすぎるので困っていたら、学生くんたちがグラインダーで削ってくれました(^_^) さすが工大です。頼もしい。 鳥人間コンテストで忙しい学生くんも、手伝ってくれました。ありがとうございます☆ ちなみに鳥人間コンテストは24日、25日だそうです～▽～
2010/07/10 (土)	入りました！	小さい柄ごてが何種類か入りました。口の細い徳利や壺等に使ってください。 白萩釉と丹波黒釉がほとんどなくなっていたので、購入しました。 アルミナ液も入りました。これで窯の棚板が修理できます。
2010/07/09 (金)	もうすぐ最高温度	窯の隙間から、オレンジ色の光が見えていました。 本焼き真っ最中です。



年月日	タイトル	本文
2010/07/08 (木)	流れた	金属を多くした釉薬は、流れる危険があります。でも、黒っぽい渋い銀色が出るんですよね。どこで止めるか。挑戦が続いています。
2010/07/07 (水)	できた～	最近スタッフとして熱心に陶芸をしている某君の作品ができました～。 たくさん作品を作っていますが、実は釉薬がけまでして完成したものはまだ少ないのでは？それだけハイスピードで作ってるってことですね(^_^)
2010/07/06 (火)	素焼き	できました。 釉薬がけに来てくださいね！ 次の講習会は、7月12日(月)16時半～18時半です。
2010/07/05 (月)	電動ろくろ	穴があきそう～、と言いながら、電動ろくろで削りをしている人がいました。 うまかったかな。
2010/07/03 (土)	本焼き	遅くなりましたが、67回本焼きです。 左から、上段、中段、下段。
2010/07/02 (金)	茶道部 陶芸体験	今週は、茶道部の人たちが陶芸体験に来ました。 茶道部で使うお抹茶茶碗ができたかと思いきや。 なぜか、はにわ(笑)しかも、かなり怒ってます。 そして、お茶碗に見えるものにも、いろいろと深淵な名前が・・・ 「愛・・・」「茶わん？」「おぼえていますか」「ひびわれ愛」、そして「愛憎のすえに・・・」 この器でお茶を頂いたら、どんな味がするのでしょうか(^▽^;)試してみたいような、怖いような・・・ 次は、釉薬がけですね。 素焼きをブログで報告しますので、お待ちください。 担当したスタッフさんたち、お疲れ様でした！



年月日	タイトル	本文
2010/07/01 (木)	人それぞれのチャレンジ	人によって、得意分野って違うんですね。夢雲でみんなの作品づくりを見てると、いつもこれを思います。素直で精緻なものを作るのが得意な人、生き生きとした動きのあるものが得意な人、綿密な計画を基にイメージ通りに実現させるのが得意な人、実験して改良を重ねていいものに到達していく人、イメージトレーニングを重ねて一気に仕上げる人。自分とは違った取り組み方を見るのもまた、勉強になるかもしれませんね。
2010/06/30 (水)	講習会だけど...	テストがちらほら始まっているようで、人がまばらでした。みんなで土のお世話をし、素焼きや本焼きの整理をし、素焼きの窯づめをしました。まだまだ入りきらないものがたくさんありましたので、次にまた素焼きしますね。窯の写真、よく見ると、すごいものが入ってますよ〜(^) お疲れ様でした！
2010/06/29 (火)	接写から...	ぎよぎよ！ 出ました◎n◎
2010/06/28 (月)	整いました	ありがたいです。 飯碗が後ろの方に控え目に居たり。お湯のみが前の方に陣取ってたりするけど(笑) 雰囲気出ます。まずはここから。
2010/06/25 (金)	面白そうな計画	何だか面白そうな計画が立ち上がっているようです。 できてからの楽しみです☆ 土のお世話も、よろしくお願ひします。 乾燥→再生/バケツに入れて水に浸す→毎日かき混ぜる→つぶつぶがなくなったら吸板に乗せる→適度な硬さになったら土練機へ。
2010/06/24 (木)	初めての作品も	何年も陶芸をしている人のもあれば、初めて陶芸をした人の作品もあります。 最初の頃の、うぶい作品の良さがありますよね。



年月日	タイトル	本文
2010/06/23 (水)	美しくありませんか	表面に貫入(かんにゆう)が入っていたり、何ともいえない赤が出ていたり。使用するとまた味が出てくると思います。
2010/06/22 (火)	ギャラリー リニューアル☆	6号館16階の淀ビスタギャラリーの器を一部入れ替えました。随分前にできていた、工大オリジナル釉薬「枯葉陽花釉」の紹介ブースをやっと作りました。釉薬実験では数々の失敗を経ていることも、実際の器を置いて紹介しましたよ。溶けきっていない釉薬や、ごりごりの表面も、楽しいものに見えてきませんか？ 作品の入れ替えをしている時に、「夢雲でこの前初めて作品を作りました〜」と声をかけてくれる人もいました♪ 夢雲を訪れる第一歩がちよつとな〜、と思っている方、気軽に陶芸しに来てください。
2010/06/21 (月)	曲芸のような	徳利が二つ、できていました。輪っかが三つ連なっているものと、小さい破片を貼り付けていって出来上がったもの。破片を一枚ずつ貼り付けているものは、伊藤若冲の絵をイメージしているようですね。絵から立体を想像して作ってしまうとは。若冲は確かに美しいですね。初めてさんたちの作品もできてました。完成が楽しみです！
2010/06/19 (土)	細工物	一枚ずつ貼り合わせた器。岩を一つずつ積んでいる器。鶏。
2010/06/18 (金)	ドーナツが	またまた高度な技が！？ ドーナツに挑戦！
2010/06/17 (木)	備前 窯作り	ご報告が遅くなりましたが、先週土曜日、備前の的野さんの窯にお邪魔しました。26年間使っていた窯を、今回壊して新たに作られるということで、窯作りを見学をさせてもらえることになったんです。窯は、築炉(ちくろ)職人の渡辺さんが一つずつ煉瓦を積んで作ってゆきます。備前の窯の7割を、この方が作っておられるそうです。モルタルを煉瓦にさっと塗って、ぴっちり置いてゆく無駄のない動きは、さすが職人さん！この時は、床を敷いていましたが、この後壁と天井を作ってゆきます。どんな風に作られるのか、見たくなりました(^_^)窯の作り方についても、丁寧に教えて下さいました。的野さん、渡辺さん、お邪魔しました。ありがとうございました☆



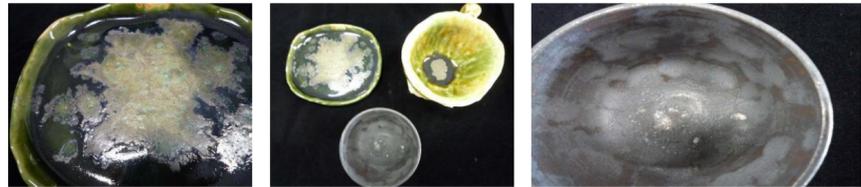
年月日	タイトル	本文
2010/06/16 (水)	備前作品 お引き取りください！	大変お待たせしました。 昨年11月に図書館主催で行った、的野氏の備前陶芸教室以降、備前作品を色々な人が作っていました。 この3月に、的野氏のタ立受窯で窯たきをされ、作品が仕上がりました。 夢雲の素焼き棚の下の方に置いてありますので、ご自分のものを見つけて早めにお引き取りください。
2010/06/15 (火)	66回本焼き	できました。 徳利、マスキングした板皿、壁掛け魚型花入れ。 何だかどんどんパワーアップしていているような！？私の知らないところで、何かが起こっているようです (笑) 作品には表われませんが、土づくりを一生懸命してくれている人、釉薬の攪拌に労力を尽くしてくれている人、 部屋を掃除してくれている人等、縁の下の力持ちさんたちの存在があってこそですね。
2010/06/14 (月)	講習会でした	今日もわいわいと、初手びねり、電動ろくろ、釉薬談義。西村先生の講習会でした。 留学生さんも先生と一緒に陶芸をしに来てくれました。出来上がった器を手に、最後にパチリ☆ また、作りに来て下さいね。 次に何を作ろうか、と頭をひねっている人もいました。 「もの」で考えるだけでなく、「人に●●を感じさせる器」を作ってみるのも面白いかもしれません。 例えば、それを見た人が美味しい料理を作ってみたくなる器、何かに自分もチャレンジしてみようと思うような器、ゆったりした時間が過ごしたくなるような器、などが作れたら面白くないですか。 キレイのある作品とやぼったい作品、肩肘張っている作品と力の抜けた作品、などを作り分けてみる、というのも面白いかもしれません。 いろんな角度から、チャレンジしてみてください。 皆さま、お疲れ様でした～。
2010/06/12 (土)	なんじゃこりゃ	びっくりしました！
2010/06/11 (金)	授業？	白衣を着た人が、黒板に向かって説明していたので、授業かと思いました。 近くに行ってみたら、陶芸指導でした～(^^) 昨日も、何人か手びねりして行ったんですね。 14日、30日に講習会がありますのでどうぞ☆
2010/06/10 (木)	窯づめ	スタッフくんたちが、窯づめをしてくれました。 次は、どんなものができるでしょうか。 楽しみです☆



年月日	タイトル	本文
2010/06/09 (水)	作品	こちら、先日窯から出てきた作品です。 味わい深いもの、軽快な作品、美しい表情。 作品によって、出来上がりが違いますね。作り手が意図した方向には、どれくらい近づいているのでしょうか。
2010/06/08 (火)	生まれる前	タオルに、大事そうにくるまれたものがありました。 そっと中を覗いてみると、オカリナくんの原型が・・・。 何だか大事にされてるな～と感じました。 温かい音がするオカリナができるんだろうなあ。
2010/06/07 (月)	素焼き できてます	初めて作った器や、繊細な造形のもの、面白いもの、いろいろできていました。 まだ本焼きするには釉薬がけされた作品が少ないので、今がチャンスですよ！ 皆さん、釉薬がけしてくださいね～。
2010/06/05 (土)	本焼き作品	左の写真は、どんな釉薬なのか分かりませんが、まったりと仕上がっています。 真ん中の写真は、黄瀬戸に鉄赤の二重がけで、鮮やかな赤が出ています。鉄赤のみだとぼそぼそになってしまのですが、こうするとよみがえりますね。 右は、丹波黒の口元にワラ灰をかけているそうです。美しい緑色の輪になりました。
2010/06/04 (金)	手助け	今日は、夢雲に行ったらスタッフくんが床そうじをしてくれていました。ありがとう。 それから、割り箸と縫い針で陶芸用の「針」を作ってくれた人もいます。ありがとう。 某所から、乳鉢もいただきました。ありがとう。 助かってます。



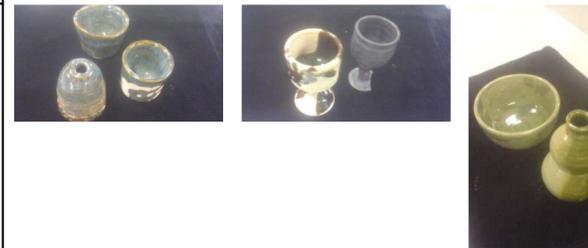
年月日	タイトル	本文
2010/06/03 (木)	それぞれに	<p>夢雲では、今夢雲にある道具や素材を使って、自由にものづくりをしてもらっています。 斬新な造形を試す人、同じ形の器をひたすら作って極めていく人、長年温めていた計画を形にしようとする人、 釉薬実験を繰り返して目的の色を出そうとする人。 それぞれの人が、自分の試してみたい道を進んでいます。 どんな結果が出るかは人それぞれです。結果が早く出る人も、遅く出る人も、想像とは違った結果が出る人も います。でも、結果よりもそこに至るプロセスが大事だと、私は思います。 80点という結果を取るために、ごまかしたり都合の良い方法を取ってよとするよりも、どうやったら目的に近 づくかと試行錯誤してたどり着いた60点の方が、その人の身に残るものがあると思うんですね。 今日限りの80点よりも、明日に続く60点を取ってほしい！ と、みんなの作品を見ていて思いました(^ ^) あ、こんな小難しい話を書いていて、大切な作品の紹介を忘れてました(笑) 左の写真は、試行錯誤していたオカリナです。焼いたらどうなるでしょうか。 真ん中は、初めての手びねり。何と書いてあるでしょうか。 右は、手びねりを極めていった人の作品です。 どれも、焼きあがりを楽しみます☆</p>
2010/06/02 (水)	結晶	<p>これまでの努力の積み重ねが、こんな結晶になりました☆☆ まだ塗上です。でも、塗上もまた美しいと思いました。</p>
2010/06/01 (火)	フリーマーケットに向けて	<p>学園祭で出店するフリーマーケット用の器が、少しずつ出来上がっています。 オリジナル釉薬を使ったものや、夢雲ならではの器～他では見たことがありません！～も、できてますよ。 フリーマーケットをお楽しみに♪</p>
2010/05/31 (月)	本焼き できました	<p>65回本焼きが完了しました。 手の跡をうまく生かした徳利、枯葉陽花釉の色合いが何ともいえない器、絵と文章を綴った板皿…。 城北祭に向けた作品作りも始まっていますよ☆また、ご紹介します。 ◆1230度で30分</p>
2010/05/28 (金)	兄さん講習会	<p>今日は、人数も少なく落ち着いた講習会でした。これまで、わんさか人がいたことが多かったので、久々にゆっ たりした時間です。 一人、二人で、ぼつ、ぼつ、としゃべりつつ、作品を作るという時間って、いいなあと思います。</p>



年月日	タイトル	本文
2010/05/27 (木)	本焼きしています	次々、本焼きに入っています。 スタッフくんが窯入れしてくれました。入りきらなかったものもあるようです。入らなかったものは、もうちょっと待ってくださいね。 織部を作りましたが、緑の濃さをチェックするための器を今入れていきます。
2010/05/26 (水)	64回本焼きの作品	紹介しきれませんが、本焼き作品です。 黄瀬戸と鉄赤を二重がけすると、鮮やかな赤色が出るみたいですね。 黒いマットな色が出ていたり、枯茶陽花で微妙な色が出ていたり。 数え切れない色が出るようになっていきます。 釉薬実験をずっと重ねてきた某君は、「だんだん、行きたい方向に行けるようになった」と言っていました。 釉薬の色の道筋が、感触として分かってきたようですね。みんなで受け継いでいきたいものです。
2010/05/25 (火)	夢雲では	すごい勢いで、作品が出来ていっています。 写真、撮りきれません(笑) それぞれの人が、自分の課題や目標を見つけて、チャレンジしているのが面白いなあと思います。 修行の過程は、「守・破・離」と言われます。 まずは、型通りのことをきっちり守ってできるようになる「守」、その型を破って自分独自の方法を探そうとする「破」、そしてさらに型から離れて独自の世界を発展させようとする「離」。 どの段階でも、難しい課題がありますが、技術を習得したり、新たな視点を得たり、自分の弱点を知ったり、思いもよらなかった課題が目前に現れたり・ そんな、いろんな体験が一つずつその人の経験として積み重なっていくんですね。 まあ、器を作っている人は、そんな難しいことを考えずに、楽しく作ってくれているんだと思いますが(^_^) 結果的にそんな体験になっているかもしれないな、と思いました。
2010/05/24 (月)	留学生の器	完成了した☆ 先日、タイからの留学生とパティの皆さんが作った器が、今日窯から出てきました～。 釉薬がけも、うまくいってましたよ☆ 日本のこと、大阪工大のことを、思い出してくださいね～。
2010/05/21 (金)	キッズものづくり道場 作品できました☆	ゴールデンウィークに陶芸体験してくださった、小学生と保護者の方の作品が、完成了しました。 こんがりオレンジ色に焼きあがっていましたよ。 梱包しましたので、6月末までにお引き取りにいらして下さい☆
2010/05/20 (木)	本焼き	留学生の作品を本焼きしています。1230度で焼きます。 24時間かけて、じんわり温度を上げていきます。



年月日	タイトル	本文
2010/05/19 (水)	タイ留学生の釉薬がけ	タイからの短期留学生が、釉薬がけに来ていました。みんな、とっても元気で、わいわいがやがやと釉薬がけをしました。 思い通りに仕上がるでしょうか。 来週焼き上がりますので、楽しみに待っていてくださいね。 最後は、みんなで記念撮影して、丁寧に敬礼の挨拶をしてくれました。 コップケン マーク カー☆ パティの皆さん、夢雲スタッフさんも、ありがとうございました。お疲れ様でした！！
2010/05/18 (火)	ひよ～～	よく見ると、かわいような、怖いような・・・(^_^) これ、オカリナなんですよ。土っぽい、素朴な音がします。
2010/05/17 (月)	西村先生の講習会	今日も、夢雲にはたくさんの方が来て、それぞれの作業をしていましたよ。 あまりにもめまぐるしくて、写真を撮るのを途中から忘れてました(笑) 釉薬実験の結果を見て考える人、手びねり初挑戦の人、電動ろくろを頑張っている人、初作品が出来上がった人、作っているうちに面白いものができた人、オカリナを作る人・・・。 みんなの作品が出来上がるのが、楽しみです。 スタッフになってくれた人たちもいました。 これから、よろしく願います。それ以外の人も、空いた時間に気軽に夢雲を覗いてくださいね！ お疲れ様でした☆
2010/05/14 (金)	64回本焼き	昨日、スタッフくんたちが窯出ししてくれたようで、64回の本焼きができていました。 新入生の作品も、仕上がっていましたよ。 手の跡を模様にしたものも、面白く出ていました。 ワイングラス、大きなお鉢、ひょうたんも出てきました～。
2010/05/13 (木)	亀板入りました	報告しそびれていましたが、亀板が入りました。 大きな作品を作る時や、変形しやすい作品を作る時などに使ってください。
2010/05/12 (水)	さて、これは？	これもまた、何なんだろう？という作品です。 使う時は左側の写真のように置き、飾る時は右の写真のように置きます。 答え:「お湯のみ」だそうです(笑) どんな形のお湯のみが飲みやすいのか？という研究をしているんだそうですよ。 う～ん、それで何で車の形なんだろう(笑)今後も、期待してます。



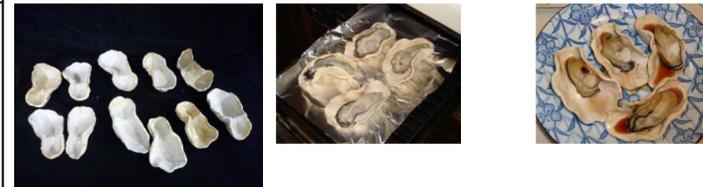
年月日	タイトル	本文
2010/05/11 (火)	回していくと...	これは、何でしょう。 丸い壺の周囲にぐるりと絵が描かれています。 くるくると回していくと、鳥が魚をくわえている様子が分かります。 図書館ギャラリーにありますので、ぜひ実物を見てみてください☆
2010/05/10 (月)	備前 飾りました☆	6号館最上階の、淀ビスタのガラスケースに、皆さんが作った備前の作品を展示しました。 備前独特の土味を、皆さまお楽しみください。 銀化しているもの、灰色、朱色、黄緑色...同じ窯でも、いろんな表情が出ています。 1カ月展示したら、お手元にお返しします。
2010/05/07 (金)	留学生の陶芸体験☆	昨日は、泰日工業大学(タイ)の留学生と、留学生サポーター'パディ'の学生さんたちが、陶芸にきました。 総勢20名ほどだったようで、たくさん作品ができていましたよ。 「日本」と書いてあったり、ハートの飾りがついていたりと、かわいい花柄の絵が描かれていたり、楽しそうな様子が伝わってきます。 乾いたら素焼きしますので、次は釉薬がけ(色つけ)です。また、このブログでご報告しますね。 指導してくれたスタッフさんたち、お疲れ様でした！
2010/05/06 (木)	GW明け 本焼き	皆さま、ゴールデンウィークは満喫されたでしょうか。 夢雲には、いつのまにやら釉薬がけされた作品がたくさんたまっていました。窯づめしましたが、まだ入りきらないものがありました。 この次は、キッズものづくり道場の作品と、最近できた作品の素焼きをできたらと思っています。 順に窯に入れていきますので、お待ちください☆
2010/05/01 (土)	夢雲では	すごい勢いで、いろいろなものができています。 写真、撮りきれないです(笑) それぞれの人が課題を持って、目標に向かってものづくりをしているのが、面白いなあと思います。 修行をする時の過程は、「守・破・離」と言われます。 まずはしっかりと型を守ってできるようになる「守」、その次にはその型を破っていく努力をするようになる「破」、さらにはそれを超えてオリジナリティを出す「離」。 どの段階にも、それぞれの難しさや課題がありますが、それにチャレンジすることで技術を習得したり、新たな視点を得たり、自分の苦手なところを知ったり、越えるべき課題が見つかったりします。 そこで経験したことは、経験した人だけが得られるものなので、皆さんにはそんな経験をどんどんしてもらいたいなあと思います。 まあ、器を作っている人たちは、そんな難しいことを考えず、楽しんでくれているんだと思いますが(^^) 結果的に、そんな経験となっているかもしれませんね。
2010/04/30 (金)	新入生 歓迎☆	今日は、新入生がたくさん陶芸をしに来てくれました。先輩たちも、大忙しでした。 お茶碗やお湯のみを作っていましたよ。初めて電動ろくろをする人もいました。 おもしろい釉薬がけ！？も、されましたよ。どんな風に焼けるか、楽しみです！ そのあと、新入生歓迎会もして、にぎやかな一日でした☆ 皆さま、お疲れ様でした。また、夢雲に陶芸しに来てください！



年月日	タイトル	本文
2010/04/29 (木)	第四回キッズものづくり道場	今日は、近隣の小学校に通う小学生とその保護者の方向けの、ものづくり道場でした。夢雲でも、テラコッタで作品づくりをして頂きました。気持ち良さそうに泳ぐお魚や、かわいいうさぎさん、迫力のあるシーサーなど、見ていて楽しいものがいろいろとできました。しばらく乾燥してから窯に入れて焼きますので、お楽しみに！ 本日は、お疲れ様でした☆
2010/04/28 (水)	おもしろ作品	最近できた、おもしろ作品です。しゃもじ入れ。線香立て。風が吹いても消えないように、下の方に空気穴があけてあります。魚の串入れ。串焼きを食べた後に、串を入れる器。
2010/04/27 (火)	的野さんの作品	的野さん親子の作品が、窯から出されて棚や床に所狭しと並んでいました。お皿、お湯のみ、茶碗、ピアグラス、徳利、花入れ、壺・・・直径80センチくらいの大皿や、大きな壺もありました。壺や花入れは、水漏れしないかどうかチェックするために、水を入れておくんですね。備前の魅力は、何と言っても窯変です。ひとつとして同じものはない器たちは、見飽きることはありません。火の調子等によって割れてしまった徳利も、何だかっこいいんですね。備前が土と火の芸術と言われる所以ですね。的野さんの窯では、採取してきた土を配合し、それを細かく砕いて水槽に入れ、粒の大きさでより分けて土を作っておられるそうです。自分で作った土でない、焼成温度によってどのように焼けるか分からないので、「的野の土」で器を作るんです、とおっしゃっていました。的野さんの器の土味は、こやうって出ているんですね。的野さん、ありがとうございました。スタッフさんたち、お疲れ様でした☆ ◆備前焼作家 的野求さん・智士さんのホームページ http://ww9.tiki.ne.jp/~qqq3/
2010/04/26 (月)	備前レポート つづき	窯に入って、内部も見せて頂きました。三つの部屋があり、高い煙突がついています。家の裏には、人が楽に入れそうな備前焼の大壺がいくつも置いてありました。江戸時代の古備前だそうです。今回窯から出た的野さんのぐい飲みでお茶をいただき、ほっとした後、作品の梱包を行いました。窯の中のどこに置いたか、どのように灰がかかったか、火がどうやって当たったかなどによって、灰色になったり銀色っぽくなったり、緋色や茶色、肌色、緑がかかった黄色等、本当にさまざまな表情が出ていました。窯炊きの時には、5日間3交代で24時間窯の番をするそうです。その間、牛や豚など四足のものは食べず、お酒も飲まないそうです。窯の神様が牛なので、いい窯になりますように、という願いが込められているそうですよ。作品を作ったら最後、どう焼き上がるかは、神様に委ねるんですね。それだけの思いや努力と、土と火と木の力、そして人智を越えた力によって、作品が出来上がります。そう思うと、ひとつひとつの作品がそれぞれ焼き上がって窯から出てくるって、すごいことだと思います。明日は、的野さんの作品についてレポートします。
2010/04/25 (日)	備前 的野さんの窯へ	昨年11月に、図書館主催の備前陶芸体験教室を、本学出身の備前作家的野さんに聞いて頂きました。今年の3月に窯炊きしたものが焼き上がったと、本日夢雲スタッフが作品を頂きに伺いました。備前の散策しようということになり・・・まずは、特別史跡の関谷学校へ。山の中にある、世界で最も古い(1670年)庶民のための学校です。屋根は備前焼の瓦でできています。備前藩主が、庶民にも教育をという精神の元に学校を作ったのが始まりで、時には農民も講釈の聴講をしたそうです。丁寧に作られており、配慮の行き届いた建物でした。それから、海へ向かい日生の五味の市へ。新鮮な魚や地元の野菜、ジャム等が売られていました。日生の海の幸を楽しんで、いよいよ的野さんの窯へ。窯は、海が見える山の麓にありました。的野さんご家族が快く迎えてくださり、窯や土づくりの水槽、作品づくりの場所の見学をさせてもらいました。大学で皆さんの作った作品も、焼き上がっていました！備前レポートは明日に続きます(^_^)



年月日	タイトル	本文
2010/04/23 (金)	発展途上	こちら釉薬実験いろいろです。 鉄赤の華麗なる復活は、まだもうちょっと先のようです。 これから、どんな色が出てくるでしょうか。楽しみに待ちましょう☆
2010/04/22 (木)	オナカガスイタ	たくさんならんだ、白い花卉のようなものは・・・ 実はこうやって、カキを置いてグリルで焼く器だったんです。焼けたらポン酢やレモン汁を絞って食べるんです。 おなががすいできました。
2010/04/21 (水)	天目？ 青色？	先日の窯から出てきた釉薬実験の器です。 左の写真と真ん中の写真は、どちらも織部と丹波黒の二種類の釉薬を二重にかけたものです。かける順番を変えたことと、釉薬の濃さとの違いで、ずいぶん違った趣になりました。 左のお茶碗は、まるで天目のような星が出ていて圧巻です。再現できるかな。 右の写真は、釉薬が垂れてしまっていますが、垂れた部分の色がとてもきれいな青色になっています。この色が器全体に出ればな～・・・と、みんなため息をつきました。 面白いですね～。釉薬って。
2010/04/20 (火)	ルラーシュ 納品	6号館15階のルラーシュに、夢雲で学生くんたちが作ったコーヒーカップを納品しに行きました。 お店の方が、とても喜んでくれました☆ これまでに使われているカップは、コーヒーで少しずつ貫入が入って味が出てきていました～。 ルラーシュでは、いい眺めを見ながらおいしいパンとコーヒーが頂けますので、皆さん一度足をお運びください (^-^)
2010/04/19 (月)	新入生 作陶	今日は1回生が6名、陶芸体験をしに来ました。 お茶碗、小鉢、お湯のみ、灰皿、などなど、みんな丁寧に仕上げていましたよ。いい器ができました。 乾燥したら素焼きします。30日の講習会では釉薬がけができると思いますので、どんな色にするか考えておいてくださいね☆ スタッフさんたち、ありがとうございました。 皆さま、お疲れ様でした！
2010/04/18 (日)	高森兄さん 個展のご案内	『器の子カラ』高森勝利 陶芸展 5/6(木)～10(月) 夢雲に講習会に来てもらっている、高森兄さんの展覧会が5月にあります。 展覧会の名前の通り、器の子カラを感じられるのではないのでしょうか(^-^) 皆さまぜひ足をお運びください。 平日は夕方～夜の方が、兄さんに会えると思いますよ！ ※夜は10時までやっています。 場所：大阪市北区天神橋7丁目3番2号大山第一ビル2F ギャラリー一寸草庵 TEL.&FAX:06-6881-6754



年月日	タイトル	本文
2010/04/17 (土)	笛をつくる	<p>じんこ先生の作った笛を、見本に借りてきました。素朴ないい音がするんですよ。笛は、口と空気の抜ける穴の角度とが合わないと音が出ません。乾かしたり焼いたりするうちに、縮んだり歪んだりして、音が出なくなることもあります。だから、チャレンジするのが楽しいですね。どんな形の笛にするのか、じっと考える人がいました。どんな音のする笛ができるか。楽しみです☆</p>
2010/04/16 (金)	63回本焼き 完成☆	<p>ちょっと長めに焼成したので、釉薬がしっかり溶けてツルツルになったもの、釉薬が流れてしまったもの、きれいな天目のようになったものなどができました。今回の窯出しも楽しかったです♪ ◆1230度で2時間焼成 写真左から、上段、中段、下段</p>
2010/04/15 (木)	講習会 新入生陶芸体験 そして釉薬談義	<p>今日は、西村先生の最初の講習会でした。新入生の陶芸体験もあり、お湯のみを熱心に作っていました。これから乾燥させて素焼きができれば釉薬がけです。素焼きができれば、ここでまた報告しますね。先輩たちは、釉薬実験の結果を西村先生とあれこれ話していました。今回の釉薬がまたすごいんです。そちらもまた、紹介していきます☆ 皆さま、お疲れ様でした～。</p>
2010/04/14 (水)	○まんまる○	<p>電動ろくろで、○いものが二つできていました。このままだと爆発する！！と思って、「爆発しますよ～」と張り紙をしたところ・・・これも何と実験だったんです。どんな実験かは、お楽しみに！結果はまたブログで報告します。</p>
2010/04/13 (火)	新入生向け講習会	<p>月曜日は、新入生が陶芸体験をしました。初めてということでしたが、丁寧に丁寧に作っていった、きれいな器ができました～☆ 乾いたら素焼きしますので、次は釉薬がけですね！お疲れ様でした。 22日まで新入生向け陶芸教室をしていますので、興味のある方モノラボ事務室(10号館1階)で申し込んでください。2回生以上でも申し込みできます。 お待ちしております。</p>
2010/04/12 (月)	釉薬実験	<p>いろいろな実験が重ねられています。赤色の回復はまだですね～。 今もまた、本焼きしています。お楽しみに！</p>



年月日	タイトル	本文
2010/04/09 (金)	本焼き 窯づめました	また、窯がいっぱいになりました。 新入生さんも、上回生さんも、在学中に何かひとつ作品を作り、ぜひ来てくださいね！
2010/04/08 (木)	予想外...	丹波黒の上に長石をかけて、長石を削り取って絵を描いたのですが・・・。 予想では絵の部分だけ黒く浮かび上がるはずだったのが、真っ黒になってしまいました～。 う～ん。釉薬って難しい。また、チャレンジです！
2010/04/07 (水)	宇宙 鏡！？ がりがり	今回の本焼きでも、いろいろな釉薬実験がされていました。 桶の灰を使った実験では、器の底に釉薬がたまって宇宙の無数の星のような色ができました。 アルミホイルにガラスを乗せて本焼きしたら鏡にならないか？とチャレンジしたところ、真ん中の写真のように・・・アルミは焼け縮れてところどころに残っている状態です。 右の写真も灰や長石を配合した実験ですが、がりがりになりました。 今後、どんな風になっていくのか期待！
2010/04/06 (火)	白が～...	夢雲の白萩が変質して、沈殿が激しくなり、白色がきれいに出なくなりましたので、調整していきます。 皆さん、釉薬は隅から隅までかき混ぜましょう！
2010/04/05 (月)	フレッシュ☆ 陶芸体験のお知らせ	今日も新入生がたくさん大学にいました。いいお天気の中、いろいろな部活、サークルの勧誘が行われていましたよ。 夢雲でも、モノラボウイークの中で新入生に向けた陶芸体験教室を開きます。 12～22日の間の何日か開催しますので、参加される方はモノラボ事務局(10号館1階)で申し込んで下さい。 上級生でも参加できます☆
2010/04/03 (土)	ご入学おめでとうございます！	今日は、入学式でした。 新入生が大学にあふれ、上級生はクラブやプロジェクトの勧誘活動をしていました。新入生さんたちが、よい大学生活を送れますように。 6号館最上階の淀ビスターのギャラリーを、新入生歓迎仕様になりました。いつもより華やかです☆



年月日	タイトル	本文
2010/04/02 (金)	今日のスタッフ在室日は	窯出し&基礎練・釉薬調整・釉薬実験 などなど、盛りだくさんでした。 面白い試みがされた器がたくさん出ましたよ！ ◆62回 本焼き焼成 左から、上段 中段 下段 ※クリックすると写真が拡大できます
2010/04/01 (木)	本焼き しています	今回もまた、面白い試みがたくさん詰まっています☆ どんな風に出てくるか、待ち遠しいですね。

